

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2020—

Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2020



COVID19に立ち向かう宇部興産（宇部市）



*Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2020*



Contents



Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	飯田通久
Page 6	臨床報告（入院）	病棟医長	鈴木伸明
Page 7	臨床報告（外来）	外来医長	吉田 晋
	臨床報告（各グループ）		
Page 8		上部消化管グループ	
Page 11		下部消化管グループ	
Page 14		肝胆膵グループ	
Page 19		乳腺・内分泌グループ	
Page 22		腫瘍センター	
Page 25	教室関連研究会開催	報告	
Page 30	業績報告		
Page 31		英文論文	
Page 34		和文論文	
Page 35		国際学会発表・司会	
Page 36		国内学会発表・司会	
Page 45		地方会発表・司会	
Page 48		研究費取得状況	
Page 49		業績その他	
Page 51	Clinical and Research Conference	記録	
Page 52	研究者発表会議	記録	
Page 53	学位取得者報告		
Page 54	新入局者あいさつ		
Page 56	2020年 在籍教室員名簿		
Page 58	学会専門医・指導医・評議員リスト		
Page 60	2020年 年間行事		
Page 77	編集後記		



巻頭言

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭

Hiroaki Nagano

山口大学着任後、6年目を迎えた2020年、これからの教室の未来とあり方を模索すべく教育、研究、臨床の3点より消化器・腫瘍外科学講座の5年間をあらためて見直し、その総括をもとに新しい一步を踏み出すべく決意をもって臨んだ年でもあった。

その矢先、日本中はCOVID-19の感染によって、一時的な危機的状況に陥った。そのために、県外移動が禁じられ山口県から出ることが許されない状況になった。日常生活は一変し、一時的には教室の機能が停止するような錯覚さえ覚えたが、そのような状況にあっても、教育、研究、臨床の現場は止まることなく進んでいく必要があった。

その中で、教室は新たな展開をいくつか迎えた。

2020年4月には、大阪国際がんセンターより井岡達也医師を招請し、山口県で初めての腫瘍内科医が誕生した。現場はある種の戸惑いと反発、体制変更への抵抗などがあったように思う、というかはっきりとそのことを感じていた。ただ、その一切すべてを無視した。まず、山口県にはこれまで消化器がん診療のできる本物の腫瘍内科医は一人もいなかった。つまり、腫瘍内科医とともにがん治療を行うことの重要性を知っている外科医は、山口県には小生以外、誰一人としていないという事実だけがそこにあった。そして、理想のがん診療の実現とその成果のみが、医療の発展の証になるということだけを信じていた。この小生のこだわりが山口県の理想のがん診療実現のための確実な一步をしるしたことは、1年後、教室員全員が認めるところとなった。

また、食道がん手術におけるロボット支援手術が、山口大学病院における保険適用になった。食道がん手術は、消化器外科手術の中では高難度手術にあたる。また、胸部手術操作と腹部手術操作を併用することで、高度の術後管理を要求される。教室では、三代目の故石上教授の時代より、この高難度手術を導入し山口県での食道癌治療を展開してきた。この伝統を生かし、胸腔鏡手術を早くから応用し、食道がん手術の成績向上のために進んできた。さらにこの努力を発展させて、診療准教授の武田茂が中心になって、今回のロボット支援下食道がん手術の保険適用を獲得できた。ただ、その一方で、食道がん手術件数に関しては、内視鏡外科手術などの導入時期とあわせて考えてみても、県民人口数に基づく発生件数と手術件数には依然として乖離がある。食道外科や肝胆膵外科については、その難易度と特異性により施設の集約化を最も図らねばならない分野でもあり、教室の今後の課題かもしれない。

さらに、着任直後に転換した診療体制については、グループ体制がようやく固まったところで、2020年にはその第二弾を行った。それは、外科診療の専門性を重視し、少なくとも学位・専門医未取得の教室員は外来をすることをやめた。そして、完全予約制に移行し、外来受診時間を順守するように決め、これまでのほぼ「First come, first in」というFAST FOOD RESTAURANT体制は止めた。さらに、各教室員の外来日は、週1日とし初診は各グループの責任者のみとした。その上で、外来化学療法は、腫瘍内科医に移行し、原則、外科医による抗がん剤治療の施行をやめた。

このことは、専門性の高いがん診療と癌腫の特異性に合わせた高いレベルでの癌診療を行うことで、最終的に山口県のがん治療成績の向上を目指すための戦略の一環である。「何でもできるものは、何もできない。」がん診療は総合診療の対極にある専門診療に位置する。消化器外科医、乳腺外科医としての、高いレベルでの診療を山口大学病院で行わないようであれば、山口県の未来はない！山口大学はこの県の医療のパイオニアであり続ける必要がある。そして、理想の消化器がん診療、乳がん診療実現のために、消化器・腫瘍外科学講座は止まることを許されない、日々精進し続けることがその社会使命であることは言うまでもない。なぜなら、私たちの教室だけが、山口県の消化器がん、乳がん診療の発展を担うことができるからである。

今回のコロナによる構造改革により、企業の業績はむしろ向上するケースが出てくる。ある経済学者の言の一つである。消化器・腫瘍外科学教室にとっても、COVID-19感染の影響を少しでも新たな展開に向けてのチャンスへとつなげたい！

今は少なくともそう感じている。

医局員一同



酒井豊吾

尤曉琳

兼定航

徳久晃弘

太田啓介

鍋屋まり

古谷圭

中上裕有樹

藤本拓哉

山田健介

佐藤陽子

木村祐太

中島千代

西山光郎

千々松日香里

鄭桓宇

徐明

山本常則

中島正夫

徳光幸生

友近忍

松井洋人

前田訓子

新藤芳太郎

恒富亮一

渡邊裕策

松隈聰

飯田通久

武田茂

碓彰一

永野浩昭

井岡達也

鈴木伸明

吉田晋

日常の風景

カンファレンス風景



病棟回診風景



外来風景



教室人事



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 医局長

飯田 通久

Michihisa Iida

医局長を務めさせて頂いております平成11年卒の飯田です。令和2年1月から12月の大学の人事異動は以下の通りです。

同年4月1日付で、山口大学病院 腫瘍センター准教授の吉野茂文先生が、関門医療センター外科部長として赴任しました。吉野先生は長きにわたり当院から山口県の上消化管・内視鏡外科を臨床・研究両面で牽引していただきました。今後は関門医療センターで外科部長としてリーダーシップを発揮していただくとともに県の内視鏡外科レベルアップのため、ご指導および発信を続けていただきたいと思います。帰学者および新入局に関してですが、同年4月1日付けで、井岡達也先生が大阪国際がんセンターから腫瘍センター准教授として赴任しました。井岡先生は現在までに多くの臨床試験を主導された国内外でも有数の腫瘍内科医であり、山口県におけるがん化学療法のレベルアップに大きく寄与していただけたと思っております。また渡邊裕策が川崎医科大学から帰学し助教として上部消化管外科を担当することとなりました。川崎医科大学で得た知識及び臨床経験を当科に還元してくれるものと期待しております。また藤本拓也先生がセントヒル病院から診療助教として帰学しました。前勤務地での様々な経験生かし、活躍してくれるものと期待しております。鍋屋まりが大学院入学に伴い都志見病院から帰学しました。今まで培った経験を活かして、高い視点と広い視野をもった乳腺外科としてこれからの成長を望みます。また、研究面では徳久晃弘と古谷圭の2名が大学院に入学しました。教室の一員としての自覚を持って、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。新入局員は、卒後6年目の小佐々、卒後3年目の佐伯、酒井、鈴木、堤、尤の5名で計6名となっております。新入局員はそれぞれ個性豊かで何事にも積極的に取り組む姿勢を見せており、消化器・乳腺外科医としてこれからの成長を大いに期待しています。関連病院の先生方におかれましては、外科医不足でご迷惑をおかけしていますが、医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

関連病院人事異動（令和2年（2020年）1月1日から12月31日）

移動日	卒年	氏名	異動元	異動先
4月1日	S61	吉野 茂文	山口大学病院 腫瘍センター	関門医療センター
"	H2	井岡 達也	大阪国際がんセンター	山口大学病院 腫瘍センター
"	H5	森田 克彦	下関医療センター 外科	下関医療センター 総合診療科
"	H7	荒木 厚博	山口県済生会豊浦病院	退職（開業）
"	H9	坂本 和彦	都志見病院	関門医療センター
"	H10	西村 拓	小倉記念病院	下関医療センター
"	H11	藤村 秀明	関門医療センター	小倉記念病院
"	H11	徳久 善弘	下関医療センター	退職（開業）
"	H11	前田 祥成	関門医療センター	都志見病院
"	H15	渡邊 裕策	川崎医科大学	山口大学 消化器・腫瘍外科学
"	H17	松隈 聡	山口大学 消化器・腫瘍外科学	昭和大学腫瘍内科
"	H20	田中 宏典	市立八幡浜総合病院	川崎医科大学
"	H20	藤本 拓也	セントヒル病院	山口大学 消化器・腫瘍外科学
"	H22	藤原 康弘	都志見病院	セントヒル病院
"	H25	太田 啓介	下関医療センター	山口大学 消化器・腫瘍外科学
"	H27	小佐々 貴博	入局	市立八幡浜総合病院
"	H29	濱崎 太郎	山口大学 消化器・腫瘍外科学	下関医療センター
"	H30	佐伯 晋吾	入局	関門医療センター
"	H30	酒井 豊吾	入局	山口大学 消化器・腫瘍外科学
"	H30	鈴木有十夢	入局	都志見病院
"	H30	堤 甲輔	入局	市立八幡浜総合病院
"	H30	尤 曉琳	入局	山口大学 消化器・腫瘍外科学
9月1日	H26	鍋屋 まり	都志見病院	山口大学 消化器・腫瘍外科学
10月1日	H17	松隈 聡	昭和大学腫瘍内科	山口大学 消化器・腫瘍外科学

臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌

腫瘍センター



春の錦帯橋（岩国市）

臨床報告（入院）



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 病棟医長

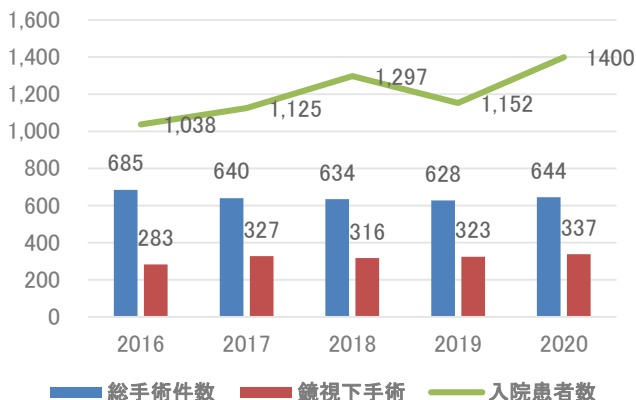
鈴木 伸明

Nobuaki Suzuki

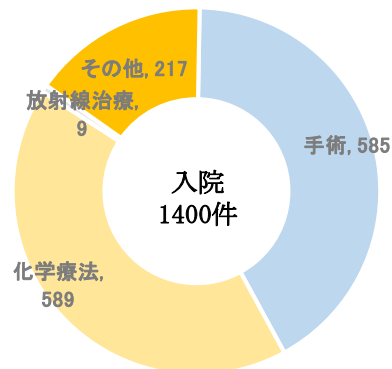
2020年の入院診療につきましてご紹介致します。

当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループで診療体制をとっています。年間手術件数はコロナ禍の中、微増で2020年は644件（応援手術、AMEC³入院も含む）で、そのうち鏡視下手術は337件でした。手術症例以外では化学療法の入院患者は腫瘍内科の井岡達也医師の赴任もあり、入院のレジメンが大幅に増えて、術前化学療法も含めて延べ589件と昨年より200件以上増加しました。全体の傾向として合併症のあるハイリスク症例も多く、術前化学療法症例も増加していますが、医療安全の観点からM&M (mortality & morbidity) カンファレンスも定期的に行い診療科全体での意識や情報を統一して、医療の質の向上を心掛けています。入院患者数は1400名と化学療法の入院増もあり、増加しました。病床稼働率はコロナ禍での受診控えも影響して検診で発見される紹介症例が減少した影響を受け、92.4%でした。病棟師長をはじめ病棟スタッフとも協力して円滑に病床を稼働できており、平均在院日数は12.3日で入院稼働額は約14億円でした。コロナ禍の影響で手術件数は伸び悩んでいますが、手術部が移転して手術室数12床から16床に増えた関係もあり、まだまだ手術を入れる余力があります。附属病院の再整備事業により、2021年7月からB棟の改修工事が始まり、病棟も移転等余儀なくされますが、病床数は変更ないため、影響を極力少なくして患者さんを受け入れる体制が整っています。昨年も書きましたが、コロナ禍が終息し、早く元の平穏な世界が戻ることを祈念しつつ、今後も高度で安全な医療を提供できるようスタッフ一同努力致しますので、益々のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

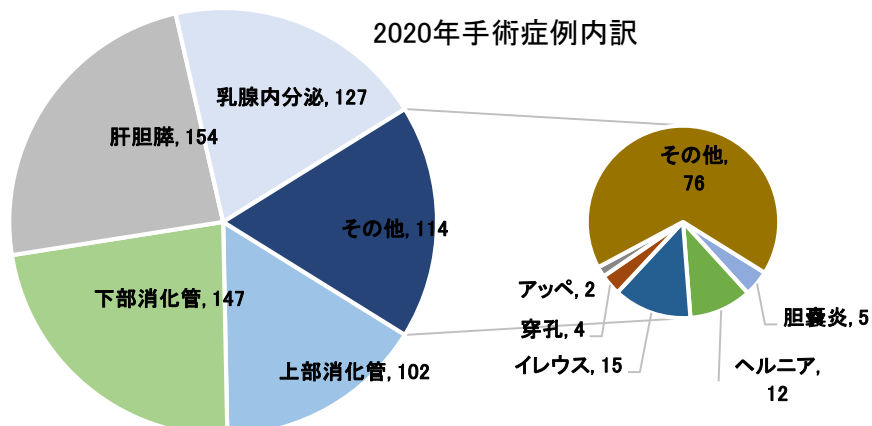
入院・手術件数推移



2020年入院患者内訳



2020年手術症例内訳



臨床報告（外来）



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 外来医長

吉田 晋
Shin Yoshida

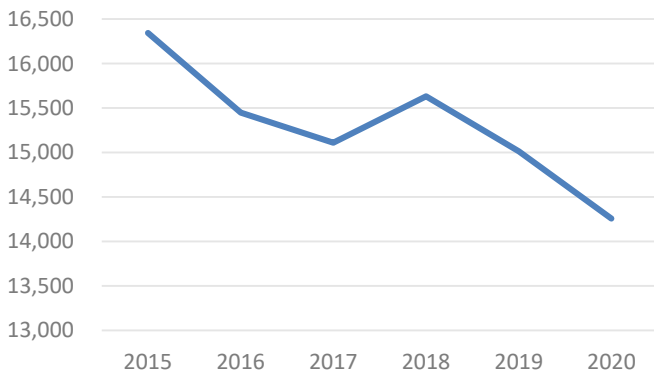
平成11年卒の吉田です。当科外来の近況と診療体制を御報告いたします。

御紹介頂いた患者さんの初診は、消化器疾患は永野浩昭教授、武田 茂医師、鈴木伸明医師（火曜、金曜）が、乳腺・甲状腺疾患は前田訓子医師、佐藤陽子医師（火曜、木曜、金曜）が、薬物療法は井岡達也医師、山田健介医師（月曜、火曜、木曜）が診察しています。治療方針は、院内のキャンサーボードおよび当科のグループカンファレンスを経て決定されます。初診外来のない曜日に御紹介頂いた場合でも、一旦は当番医が対応いたしますが、上記と同様の診療の流れをとりますので、問題ございません。

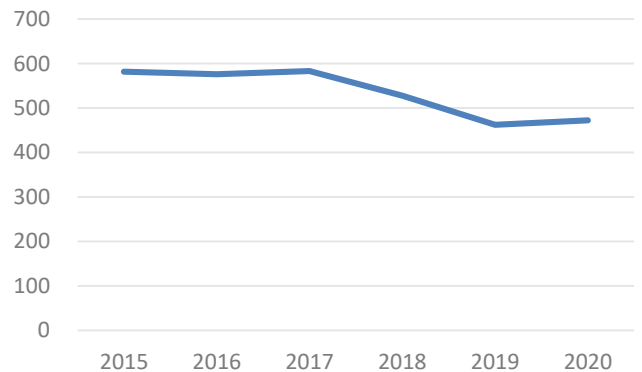
過去6年間の外来関連データを下記にお示しします。昨年は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、外来のべ患者数は減少しましたが、外来診療収入額は高い水準を保っています。その理由の一つには、化学療法患者の増加が挙げられます。腫瘍内科外来の新設に伴い、切除不能・再発症例も多く御紹介頂けるようになり、さらに局所進行症例に対して術前術後に化学療法を含めた集学的治療を行うケースが増加したことなどが考えられます。

今後も、より質の高い診療を提供するとともに、山口県における高難度手術の集約化に努めて参ります。今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。

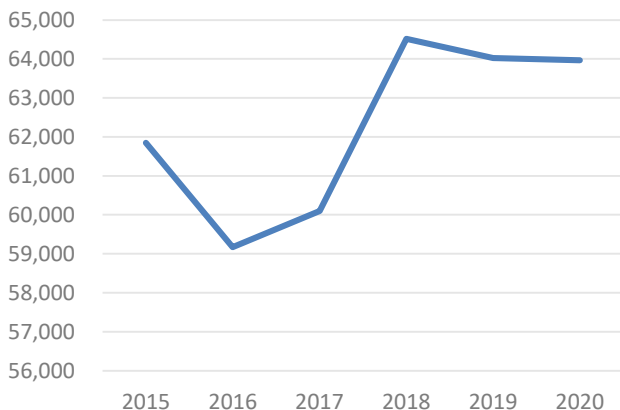
外来のべ患者数(人)



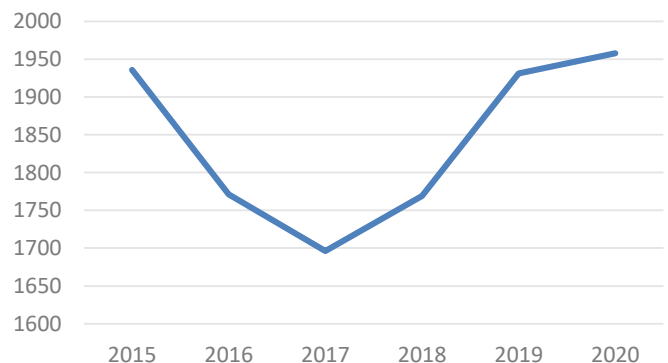
院外からの新患数(人)



外来診療収入額（万円）



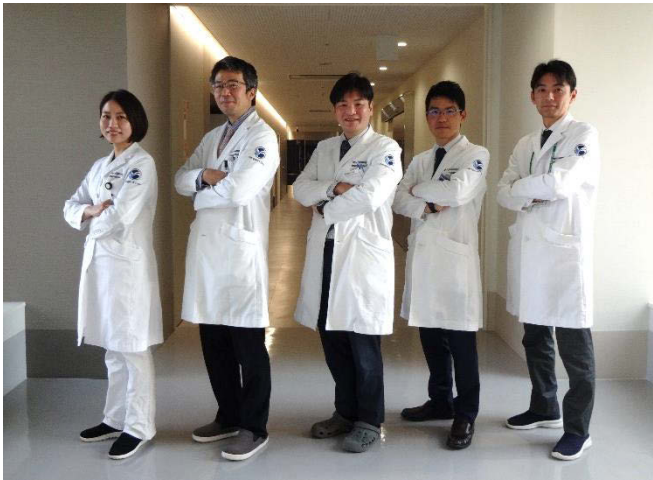
当科の外来化学療法室利用数
（件）



上部消化管グループ

スタッフ

武田 茂 飯田通久
渡邊裕策 西山光郎 中島千代



上部消化管グループは武田、飯田、渡邊、西山、中島のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2020年の新規患者100例、手術は106例でした。大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は食道外科専門医が在籍する食道外科専門医施設で、食道癌に対して低侵襲で安全な手術を目指しております。2020年8月からロボット支援下食道がん手術を導入して県内で唯一の保険収載施設となりました。NSTや周術期リハビリテーションなどチーム医療も積極的に導入して術後合併症の予防に努めています。胃癌については腹腔鏡手術を進行癌にも適応を広げ、90%以上の症例で腹腔鏡手術を行いました。腹腔鏡下噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存を目指した手術も行っています。化学療法は新規レジメンや免疫チェックポイント阻害剤を導入して、進行・再発症例だけでなく術前化学療法、術後補助療法など、腫瘍センターと連携して行っており、地域連携も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

令和2年診療研究情報報告

入院患者数

食道疾患		34例	胃疾患		66例
食道癌		31例	胃癌		64例
食道憩室		1例	胃GIST		4例
食道アカラシア		1例	内ヘルニア		3例
食道粘膜下腫瘍		1例	腹膜炎		2例
			その他		3例

手術症例数

食道疾患名				40例	術式				40例
食道癌	22例			22例	ロボット支援下食道切除術				6例
					胸腔鏡下食道切除術				13例
食道癌関連	15例				右開胸開腹食道切除術				1例
					頸部食道切除術				2例
					胃管瘻閉鎖、広背筋皮弁				1例
					胃管部分切除、広背筋弁				1例
					狭窄部切除、胸鎖関節切除				1例
					頸部郭清術				2例
					遊離空腸再建				7例
					その他				7例
良性疾患	3例				憩室切除術				1例
					食道アカラシア				1例
					腹腔鏡下Heller-Dor術				1例
					腹腔鏡下腫瘍核出術				1例

胃疾患名	66例	術式	66例
胃癌	54例	腹腔鏡下胃全摘術	4例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	35例
		腹腔鏡下噴門側胃切除	8例
		腹腔鏡下バイパス術	3例
		審査腹腔鏡	2例
		腹腔鏡下腸瘻造設	2例
GIST・悪性リンパ腫	5例	腹腔鏡下胃部分切除術	4例
		胃部分切除術	1例
イレウス・内ヘルニア	3例	腹腔鏡下イレウス解除	3例
腹膜炎	2例	腹腔鏡下ドレナージ	2例
その他	2例	腹腔鏡下大動脈リンパ	1例
		腹腔鏡下正中靱帯切離	1例

トピックス

- 2月 第37回山口県食道疾患研究会で発表しました（中島）
- 3月 胃がんにおける術前C R Pと内臓脂肪、術後感染性合併症に関する論文が掲載されました(飯田)
岡山大学臨床解剖実習セミナーに参加しました（武田、西山）
JCOG食道班会議にWEB参加しました（武田、西山）
- 7月 第92回日本胃癌学会総会にWEB参加しました（武田、飯田、西山、中島）
JCOG食道班会議にWEB参加しました（武田、渡邊、西山）
- 8月 ロボット支援下食道がん手術を開始しました
第120回日本外科学会定期学術集会にWEB参加しました（武田、飯田、西山、中島）
- 9月 第95回中国四国外科学会総会にWEB参加しました（西山）
- 10月 第74回手術手技研究会に参加しました（飯田、中島）
- 11月 JDDW2020に参加しました（武田、飯田）
第33回日本外科感染症学会総会学術集会に参加しました（武田）
JCOG食道班会議に参加しました（武田、渡邊、西山）
- 12月 第74回日本食道学会学術集会にWEB参加しました（武田、西山、中島、山本）
第75回日本消化器外科学会総会にWEB参加しました（武田、飯田、西山、中島、山本）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000034178	食道癌術前化学療法時の栄養介入が術前サルコペニアに及ぼす影響に関する後向きならびに探索的研究	食道癌	山口大学	実施中
UMIN000015107	切除不能または再発食道癌に対するCF（シスプラチン+5-FU）療法とbDCF（biweekly ドセタキセル+CF）療法のランダム化第III 相比較試験（JCOG1314）	食道癌	JCOG	実施中
UMIN000017628	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験（JCOG1409）	食道癌	JCOG	実施中
UMIN000031285	切除不能・進行再発胃癌を対象としたweekly nab-Paclitaxel + Ramucirumab併用療法の有用性を検討する第Ⅱ相臨床試験	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000023065	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab + Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験	胃癌	OGSG	実施中

山口大学医学部附属病院

県内初

ロボット支援下 食道がん手術

を導入しました

鮮明な 3D（3次元）画像



3D映像の
高精度な拡大視野

体腔内で精密な動き

手ブレ防止機能



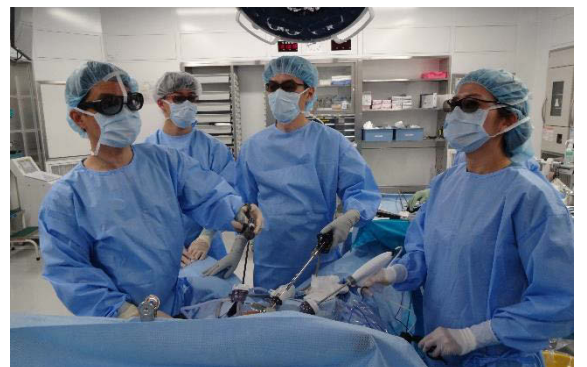
自由な角度の多関節機能

ロボット支援下食道がん手術は
からだにやさしい最新の低侵襲手術で
合併症の軽減と高い治療効果を期待されています

山口大学消化器・腫瘍外科学

お問い合わせ 電話：0836-22-2511 / HPはこちら→





下部消化管グループ

スタッフ

鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍



2020年、下部消化管グループは鈴木、吉田、友近のメンバーを中心に診療を行いました。手術患者数は168例で、そのうち緊急手術等の症例は34例でした。結腸・直腸癌症例に対する手術は70例で、経肛門手術等を除いた根治的経腹手術は63例、そのうち腹腔鏡手術は60例と95%の症例に施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。臨床研究にも積極的に参加し、IRB承認のもと症例登録を行いました。大腸班チームカンファレンスを週2回、消化器内科との合同カンファレンス（Cancer Board）を週1回行っています。また、肝胆膵グループ、腫瘍センター・井岡Dr. と相談し、抗がん剤治療先行による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy（肝転移切除等）も積極的に取り組んでいます。2020年の大腸癌肝転移切除症例数は10例でした（詳細は肝胆膵グループ参照）。TaTME (transanal total mesorectal excision)導入後、1年間で7例と症例数が増加し、術前化学療法による腫瘍の縮小、および経肛門の良好な視野により、今まで切除に難渋していたBulky tumorに対しても、two team制で時間短縮した手術が可能となりました。

令和2年診療研究情報報告

入院患者数(化学療法含む)

のべ入院患者数 291例

結腸/直腸癌（のべ人数）	184例
盲腸癌	7例
上行結腸癌	19例
横行結腸癌	21例
下行結腸癌	20例
S状結腸癌	61例
直腸癌	56例

良性疾患	107例
イレウス	22例
直腸脱	3例
炎症性腸疾患	8例
急性虫垂炎	4例
肛門疾患	3例
ストーマ造設・閉鎖	31例
汎発性腹膜炎等	11例
その他	25例

手術症例内訳

疾患別	手術症例：168例
大腸癌（人工肛門造設含む）	70例
大腸癌再発	3例
直腸NET	骨盤内臓全摘：1例 側方リンパ節郭清：2例 2例
クローン病・潰瘍性大腸炎	4例・3例 (Colitic cancer：1例)
イレウス	15例 (緊急：8例、準緊急：6例)
虫垂	2例（いずれも緊急）
腹膜炎・腹腔内膿瘍	11例 (緊急：8例、準緊急：2例)
小腸疾患	4例（緊急：2例）
肛門疾患（痔核、痔瘻等）	3例
直腸脱	3例
人工肛門形成状態 （人工肛門閉鎖）	20例
その他	28例

大腸癌根治手術	65例
年齢（平均、範囲）	69.0歳（35-88）
75歳以上（%）	24例（36.9%）
腫瘍局在（重複癌含む）	70例
盲腸	5例
上行結腸	8例
横行結腸	8例
下行結腸	4例
S状結腸	16例
直腸	29例
pStage	70例
0	5例
I	22例
II	21例
III	19例
IV	3例

大腸癌：術式別	65例	大腸癌：術式別	(づづき)
回盲部切除	10例	Hartmann手術	1例
右半結腸切除	3例	側方郭清施行	4例
横行結腸切除	7例	経肛門的腫瘍切除	2例
下行結腸切除	3例	大腸垂全摘	2例
S状結腸切除	11例	到達法	65例
高位前方切除	7例	腹腔鏡補助	55例（開腹移行2例）
低位前方切除	13例（TaTME 2例）	TaTME	7例
ISR	6例（TaTME 5例）	経肛門的	2例
		開腹	1例(cT4b症例)

トピックス

- 8月

横浜で開催された第120回日本外科学会定期学術集会（WEB開催）に参加しました。（鈴木、吉田、千々松、兼定、裕）
- 11月

東京で開催された第75回日本大腸肛門病学会（WEB開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、千々松、兼定、裕）
- 11月

神戸で開催された第17回日本消化器外科学会大会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近、裕）
- 12月

和歌山で開催された第75回日本消化器外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、千々松、兼定、裕）

令和2年臨床試験一覧

終了した臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H30-162	【LOVERY試験】肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性を評価する後ろ向き試験	大腸癌（肥満）	大分大学	終了
H27-162	【Be TRI】【TRICC1414】化学療法未治療の切除不能な進行・再発大腸癌に対するFOLFOXIRI+ベバシズマブ療法の第Ⅱ相臨床試験（Be TRI）	切除不能大腸癌	県立広島病院 四国がんセンター	終了

実施中の臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-054	【TCR】大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究	大腸癌	当院多施設	実施中
H27-070	【PARADIGM study】RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）	切除不能大腸癌	愛知県がんセンター中央病院 国立がん研究センター東病院	実施中
H27-198	【JACCRO CC-13,DEEPER試験】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13試験）	大腸癌	香川大学	実施中
H27-203	【CpG】進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第Ⅰ相臨床試験	進行・再発大腸癌	山口大学	実施中
H28-004	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-13AR）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
H30-139	【ロンサーフ+アバステン】治癒切除不能な進行・再発の結腸 直腸癌患者を対象としたTFTD+Bmab療法の治療継続性を検討する第II相臨床試験	切除不能大腸癌	山口大学	実施中
H2019-006	「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験」におけるバイオマーカー研究（JACCROCC-16AR）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
H2019-155	【MOEST study】高齢者StageⅢ大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査	高齢者大腸癌	大腸癌研究会	実施中
H2019-177	「治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカベシタピン/LV5FU2+ペバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX +ペバシズマブ逐次療法とXELOX /FOLFOX +ペバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験」参加者を対象とした追跡予後調査を目的とした観察研究（C'-Study）	切除不能大腸癌	川崎医科大学	実施中
H2020-174	【EnSSURE試験】腹腔鏡下直腸癌切除における技術認定医手術参加の有用性に関する検討	直腸癌	北海道大学	実施中
2018CRB001	【JACCROCC-16】RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第二相試験	切除不能大腸癌	香川大学医学部 附属病院	実施中



下部消化管グループ回診 B6西病棟にて
グループを支えてくれた仲間たちとともに

肝胆膵グループ

スタッフ

徳光幸生、新藤芳太郎、
松井洋人、松隈 聡、中島正夫



肝臓・胆道・膵臓領域の悪性疾患を中心に、日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の、とくに高難度手術を年間50例以上こなす山口県唯一の“認定施設A”として、チーム医療を行っております。肝細胞癌や転移性肝癌などに対しては低侵襲な腹腔鏡下肝切除を第一選択としており、従来の開腹手術と比較するとかなり早期に退院されています。また、これらの疾患では繰り返し肝切除が必要になる方も多く、2回目以降の肝切除にも腹腔鏡を積極的に行っています。一方、胆道癌・膵臓癌などの難治癌に対しては集学的治療と拡大手術を駆使し、治療成績の向上を目指します。たとえ初診時に根治手術が難しいと判断されるようなケースでも常に切除の可能性を追求し続けるとともに、既存の治療法のみならず新規の診断・治療を受けて頂けるよう、腫瘍内科とも連携し臨床試験をはじめ多くの情報を提供できるよう日々診療内容のアップデートに努めています。

令和2年診療研究情報報告

入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	130	胆道疾患	126	膵・脾疾患	251
肝細胞癌	52	胆嚢癌	48	膵癌	242
転移性肝腫瘍	18	胆管癌	31	PNET	5
肝内胆管癌	56	十二指腸乳頭部癌	22	IPMN	3
肝良性疾患	2	良性・その他	25	脾腫瘍	1
肝硬変（肝移植）	2				

手術症例数

() 腹腔鏡手術症例、* 重複あり

	肝切除					生体肝移植		肝 焼 灼	胆管切 除再 建	膵頭十 二指 腸切 除	膵体尾 部切 除	膵全摘	その他	計
	葉切 以上	区域	亜 区域	外側 区域	部分	ドナー	レシピエント							
肝細胞癌	6	3(1)	3(3)		31(27)					-	-			43(31)
肝内胆管癌	5				1					-	-		2(2)	8(2)
転移性肝癌		1		3(1)	10(9)					-	-			14(10)
その他の肝疾患	1			1(1)	1(1)					-	-		2(2)	5(4)
肝門部・上部胆管癌	3*								4*				1(1)	5(1)
中・下部胆管癌										2				2
胆嚢癌					2(2)				1				5(4)	8(6)
乳頭部癌										2				2
その他の胆道疾患													16(16)	16(16)
膵頭部癌	-	-	-	-	-			-		12		2	15(12)	29(12)
膵体尾部癌	-	-	-	-	-			-		1	6(4)		10(10)	17(14)
その他の膵疾患	-	-	-	-	-			-		3	4(4)	1	5(4)	13(8)
上記以外										1	1		3(2)	5(2)
計	15*	4(1)	3(3)	4	45(39)			0	5*	21	11(8)	3	48(42)	167(106)

トピックス

- 1月 九州肝臓外科研究会に参加しました（中島、徳久）
第1回clinical cadaver surgical training（CCST）に参加しました（徳光、新藤、松隈、中島）
- 2月 臨床肝移植セミナー ～多職種で進める山口の肝移植～ を開催しました（全員）
第1回山口県消化器外科低侵襲治療研究会を開催しました（全員）
- 4月 下大静脈、心房内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に関する論文がBJS Open誌に掲載されました（松隈）
胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術に関する論文がHealth Sci Rep誌に掲載されました（徳光）
- 5月 内視鏡外科技術認定医（肝臓）に認定されました（徳光）
- 7月 膵がんリモートLiveセミナー in中四国にパネリストとして参加しました（新藤）
HCV関連肝細胞癌切除症例におけるSVRと予後に関する論文がAnn Gastroenterol Surgに掲載されました（中島）
- 8月 第120回日本外科学会定期学術集会（WEB開催）に参加しました（全員）
- 11月 第8回山口膵・胆道疾患研究会（LIVE配信）を開催しました（全員）
胆道癌腹水細胞診に関する論文（KHBO1701）がCancer Rep誌に掲載されました（松隈）
- 12月 Pancreatic Cancer Online Seminar in YAMAGUCHIを開催しました（全員）



開腹手術風景



第1回clinical cadaver surgical training（CCST）における
高精細カメラを用いた肝胆膵領域のセットアップ



長崎大学 江口 晋教授にご講演頂きました
（第1回山口県消化器外科低侵襲治療研究会）



内視鏡外科技術認定医（肝臓）を取得しました（徳光）

終了した臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	なし	混合型肝癌に関する臨床病理学的・分子生物学的検討に関する九州 肝臓外科研究会多施設共同研究	混合型肝癌	熊本大学	終了
	なし	肝炎ウイルス関連肝細胞癌に対するウイルス排除の外科治療成績に 及ぼす影響の検証	肝細胞癌	山口大学	終了
	UMIN000029794	肝細胞癌腹膜播種に対する後方視的観察研究	肝細胞癌腹膜播種	滋賀医大	終了
		生体肝移植中脾臓摘出術併施の短期および長期成績に関する検証	生体肝移植	九州大学	終了
胆	UMIN000010691	肝細胞癌術後再発予防を目的としたHSP70mRNA導入樹状細胞療 法の第Ⅰ/Ⅱ相ランダム化比較臨床試験	肝細胞癌	山口大学	終了
		GCS療法不応・不耐後の切除不能胆道癌に対する二次治療の有効性 に関する多施設共同後ろ向き観察研究	胆道癌	KHBO、山口大学	終了
	なし	肝門部領域胆管癌に対する肝動脈合併切除・再建術の治療成績の検 証	肝門部領域胆管癌	山口大学	終了
	UMIN000037916	Vater乳頭部癌に対する術後補助療法の治療成績に関する後方視的 観察研究	乳頭部癌	日本肝胆膵外科学会	終了
膵	UMIN000029888	胆道癌における術中洗浄細胞診の有用性に関する後ろ向き多施設共 同観察研究 (KHBO1701)	胆道癌	KHBO	終了
		腹腔洗浄細胞診陽性と診断された膵癌症例に関する後ろ向き観察研 究	膵癌	静岡がんセンター	終了
		AJCC第8版によるT1膵癌の新分類のvalidationと臨床病理学的特徴	膵癌	日本肝胆膵外科学会およ び韓国肝胆膵外科学会	終了
		切除不能膵癌に対するFOLFIRINOX療法またはゲムシタビン＋ナ ブパクリタキセル併用療法により切除可能と診断された膵癌患者の 登録解析研究	膵癌	日本癌治療学会	終了
		S-1術後補助療法中または終了後6ヵ月以内の再発膵癌に対する FOLFIRINOX療法またはgemcitabine+nab-paclitaxel療法の多施 設共同後ろ向き観察研究	膵癌	杏林大学	終了

実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝		肝細胞癌切除後ミラノ基準内再発症例に対する再切除の有用性	再発肝細胞癌	肝胆膵外科学会	実施中
	なし	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治 療・長期予後に関する観察研究：SURF trial付随研究	肝細胞癌	東京大学	実施中
	UMIN000029991	根治切除可能肝細胞癌(HCC)に対する周術期補助療法としての HSP70由来ペプチド+GPC3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolを 用いた複合免疫療法の第Ⅰ相臨床試験（YCP02試験）	肝細胞癌	山口大学	実施中
	UMIN000029794	肝細胞癌腹膜播種に対する後方視的観察研究	肝細胞癌腹膜播種	滋賀医大	実施中
	なし	C型肝炎SVR後発症の肝細胞癌に対する肝切除：IFN治療とDAA治 療での臨床病理学的・分子生物学的比較検討に関する多施設共同 研究	肝細胞癌	九州大学	実施中
		切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ使用による外科的切除可 能性の検討（多施設共同臨床研究）LENS-HCC	肝細胞癌	東京大学	実施中
	UMIN000040758	ドーム下小肝癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する多施設共同 後ろ向き観察研究	肝細胞癌	山口大学	実施中
		Machine learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度診 断	肝細胞癌	熊本大学	実施中

令和2年診療研究情報報告（令和2年12月31日現在）

実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	UMIN000036286	大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の安全性に関する前向き観察研究	大腸癌肝転移	山口大学	実施中
	UMIN000030525	臓器移植における抗体関連拒絶反応の新規治療法の開発に関する研究	生体肝移植	東京女子医科大学	実施中
	なし	門脈腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の安全性、有用性についての前向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	なし	門脈内腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する治療方針とその安全性、有用性についての後ろ向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	なし	肝移植レシピエントにおける周術期腸内細菌叢の変化と感染性合併症の関係および術後敗血症を早期予測するためのバイオマーカー探索研究	肝移植	山口大学	実施中
胆	なし	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌の日報合同大規模データ集計への当科症例の資料提出	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌	獨協医科大学	実施中
	UMIN000035352	胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術の安全性に関する前向き観察研究	胆嚢癌	山口大学	実施中
		肝内結石症第8期全国横断調査	肝内結石症	杏林大学	実施中
	UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究（GALLOP）	胆嚢癌	東北大学	登録終了
	UMIN000038239	局所進行胆道癌に対するConversion surgeryの治療成績と予後因子解析に関する後方視的観察研究	胆道癌	日本肝胆膵外科学会	登録終了
		JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク	胆道癌	JCOG	実施中
	UMIN000036449	肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタピン/シスプラチン（GC）併用療法とゲムシタピン/TS-1（GS）併用療法の術後補助化学療法のランダム化第2相試験（KHBO1901）	胆道癌	KHBO 大阪国際がんセンター	実施中
		胆道癌の術後補助療法における薬剤感受性予測因子に関する検討（JCOG1202A1）	胆道癌	JCOG	実施中
		胆管癌E7090試験	胆道癌	エーザイ	実施中
		FGFR2遺伝子再構成を伴う切除不能又は転移性の胆管癌患者を対象に、1次治療としてのPemigatinibの有効性及び安全性をゲムシタピン＋シスプラチン併用化学療法と比較して評価する非盲検、ランダム化、実薬対照、多施設共同、第III相試験（FIGHT-302）	胆道癌	INCYTE社	実施中
膵		進行再発膵癌に対するゲムシタピン/ナブパクリタキセルとFOLFIRINOXもしくはS-1/LOX療法を比較するRCT	膵癌	JCOG	実施中
	UMIN000018763	膵全摘患者に対する前向き実態調査	膵全摘を施行された患者	近畿大学	実施中
		山口県内の膵癌根治切除症例に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中
		慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析 -多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田医科大学	実施中
		膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究	膵頭十二指腸切除症例	和歌山県立医科大学	実施中
		腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア（difficulty score）の有用性に対する検証研究	膵疾患	九州大学	登録終了
	なし	膵臓癌の診療向上のための分子遺伝学および分子疫学的研究	膵癌	大阪大学	実施中
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究（TRINET1332）	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中
	UMIN000037621	膵切除における抗血栓剤服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究	膵切除症例	肝胆膵外科学会	実施中
		切除不能膵癌形成膵癌治療成績に関する他施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	JCOG	実施中

令和2年診療研究情報報告（令和2年12月31日現在）

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
膵	UMIN000014795	消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌（NEC）を対象としたエトポシド/シスプラチン療法のランダム化比較試験	NEC	JCOG	実施中
	UMIN000034265	76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究	膵癌	国立がんセンター東病院	実施中
		十二指腸狭窄を有する切除不能進行膵癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除法に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	千葉がんセンター	実施中
	UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine／nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	登録終了
	UMIN000027775	根治切除不能局所進行膵癌に対するGEM＋nab-PTX療法の有用性に関する前向き多施設共同研究（GEAR study）	BR-A膵癌	九州大学	登録終了
		アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究	中腸NET	東北大学	登録終了
		Invasive intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC)に対する術後補助療法の有用性に関する後ろ向き観察研究	IPMC	和歌山県立医科大学	実施中
		膵癌に対する樹状細胞ワクチンTLP0-001試験	膵癌	和歌山医科大学	実施中
	UMIN000043376	膵癌に対する審査腹腔鏡検査の臨床的意義に関する前向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中

臓器横断的、その他

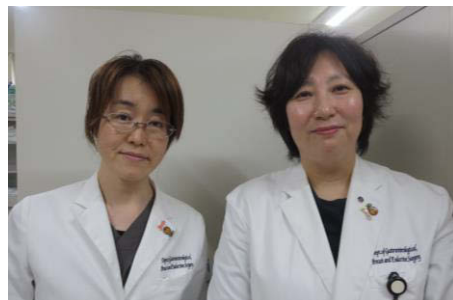
	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝胆膵癌		MSI-High肝胆膵領域癌に対する観察研究	肝胆膵領域癌	国立がん研究センター中央病院	実施中
膵癌・胆道癌		膵・胆道癌に対する集学的治療（術前化学療法および手術加療）適格症例および治療法選定のためのバイオマーカー探索試験	膵癌・胆道癌	山口大学	実施中
十二指腸		十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的因子と予後に関する研究	十二指腸癌	奈良県立医科大学	登録終了

申請中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
胆道癌		切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン＋シスプラチン＋S-1（GCS）療法の第3相試験（JCOG1920）	胆道癌	JCOG	IRB申請中
		腹膜転移を有する膵がんに対するS-1＋パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の無作為化比較第Ⅲ相多施設共同臨床研究（SP study）	膵癌	関西医科大学	IRB申請中
		肝葉切除を伴う胆道癌に対する術後補助療法としてのカベシタピン療法の第II相試験（KHBO2101）	胆道癌	KHBO	CRB申請準備中

乳腺内分泌グループ

スタッフ
前田訓子、佐藤陽子



乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS), ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。2020年4月より遺伝性乳がん卵巣がん症候群の既発症者に対するBRCA遺伝学的検査、リスク低減乳房切除術、乳房再建術が保険収載となりました。2020年には当科で加療中の遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者様2名にリスク低減卵巣摘出術が行われました。今後も山口県唯一の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設として産婦人科や遺伝専門外来と協力し、遺伝性乳がんの診療を進めていきます。引き続き山口県の乳がん診療を充実するため、今後も診療・教育・研究に力を注ぎたいと思います。

令和2年診療研究情報報告

入院患者数

乳腺疾患	151
乳癌	113
良性疾患	5
マンモトーム検査	24
その他	9

甲状腺・副甲状腺疾患	8
甲状腺癌	3
Basedow病	2
良性腫瘍・その他	2
副甲状腺疾患	1

手術症例数

乳腺疾患	126
乳癌に対する手術	121
乳房切除術	96
(うち乳房再建術	3)
乳房温存術	25
良性・その他	5

甲状腺・副甲状腺疾患	8
甲状腺癌に対する手術	3
甲状腺葉切除+頸部郭清	(1)
甲状腺全摘+頸部郭清	(2)
甲状腺良性腫瘍	2
Basedow病手術	2
副甲状腺手術	1

トピックス

2月 中四国甲状腺外科研究会を主催しました。古谷、佐藤、前田が発表しました
 8月 日本外科学会定期学術集会で、佐藤、前田が発表しました
 10月 日本乳癌学会で、佐藤、前田が発表しました
 10月 日本乳癌学会中国四国地方会で、佐藤が発表しました
 10月 手術手技研究会で前田が発表しました。
 JCOG乳がんグループ班会議にオブザーバー参加（4月、7月、9月）

令和2年研究報告（年12月31日現在）

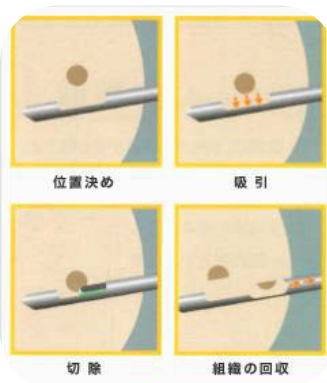
UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	登録終了
000033384	BRCA1/2遺伝子変異陽性者に対するリスク低減乳房切除術の安全性の検討	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	山口大学	実施中
	乳癌手術後の整容性に対する患者満足度の調査研究	乳癌術後	山口大学	実施中
000027938	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第III相臨床研究-JBCRG-M06(EMERALD)	HER2陽性乳癌	JBCRG	実施中
000039200	乳房専用PET検査の有用性について多施設探索研究	乳癌	山口大学	実施中
	錫(Sn)フィルターを用いた超低線量胸部CT(乳腺領域)の画質評価 (山口大学 放射線科との共同研究)	乳癌	山口大学	実施中

触診やエコーでは病変がはっきりしない 微細な石灰化病変の診断に！

当院ではマンモグラフィガイド下

吸引式乳房組織生検を行っています。

吸入式乳房組織生検は4mmほどの小さな傷1つだけで縫合も不要な生検です。局所麻酔で行います。細胞診や針生検などの他の検査と比べて、採取する組織量が多いので、より確実な診断を行うことができます。



当院は 「遺伝性乳がん卵巣がん総合診療基幹病院」です！

近年話題になっている、遺伝性乳がん。

遺伝性乳がんの中で、BRCA遺伝子の異常でおきるものを**遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）**といいます。

令和2年度の診療報酬改定により、保険診療内でBRCA遺伝子検査を実施できる対象者が拡大されました。

BRCA遺伝子検査の結果は、薬剤選択や手術方式の選択、今後の健康管理に役立つ情報となる可能性がある一方で、陽性であった場合にはHBOCであることが確定し、血縁者への影響が明らかになります。検査前にしっかりとカウンセリングを行い、検査を受けるかどうか、患者さんの意思決定をサポートいたします。

遺伝子検査の適応があるかどうかも含め、まずはご相談ください。

乳癌発症者や卵巣がん発症者に対する乳房予防切除術にも対応可能です。

当科は県内で唯一乳腺専門医2名が在籍し、

乳がん看護認定看護師を含め

他職種チームで専門性の高いチーム医療を行っています！



患者さんの生活や生き方に配慮した
診療を心がけています！

腫瘍センター

スタッフ 井岡達也



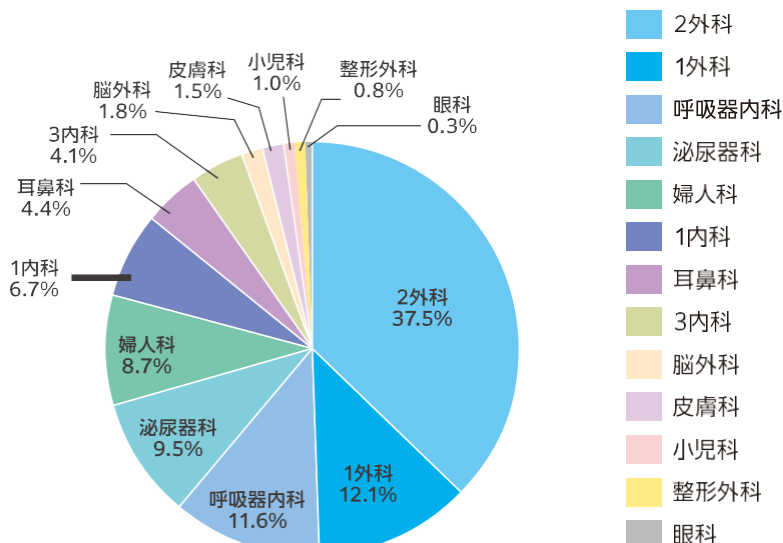
2020年前半は、新型コロナウイルス感染症の影響のためか、やや利用者数は伸び悩みましたが、8月以降、順調に利用者数は回復傾向となり、前年を上回る利用者数となっています。一方、担当医師の診察日の影響を受けて、曜日による利用者数のばらつきが多く、2外科を中心に利用者数の少ない曜日に担当医師を増やす工夫を重ねています。

現在、14床で稼働していますが、薬物治療の長時間化などもあり、外来化学療法室の混雑は大きな問題となっており、数年後に控えたりリニューアルでは28床前後に増床することを計画しています。

令和2年診療研究情報報告

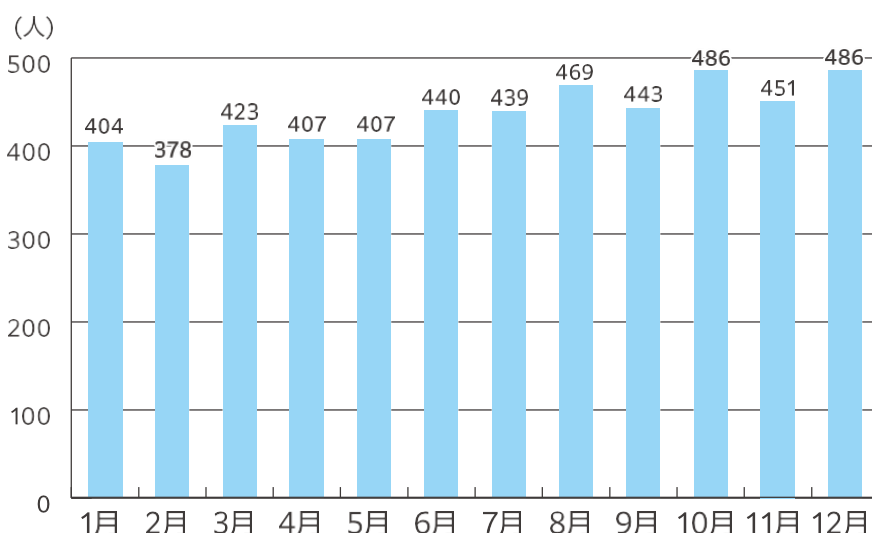
■科別利用状況

2外科	1958
1外科	632
呼吸器内科	604
泌尿器科	495
婦人科	455
1内科	351
耳鼻科	229
3内科	216
脳外科	95
皮膚科	77
小児科	53
整形外科	42
眼科	18
歯科	6
神経内科	2
放射線科	0
計	5233



■月別利用状況

1月	404
2月	378
3月	423
4月	407
5月	407
6月	440
7月	439
8月	469
9月	443
10月	486
11月	451
12月	486
計	5233

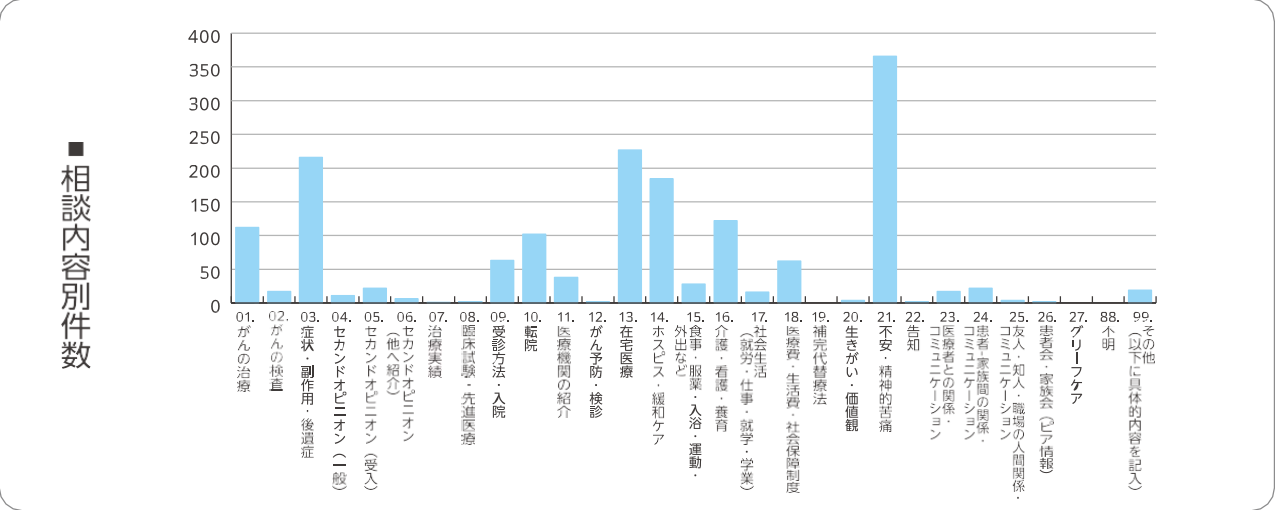
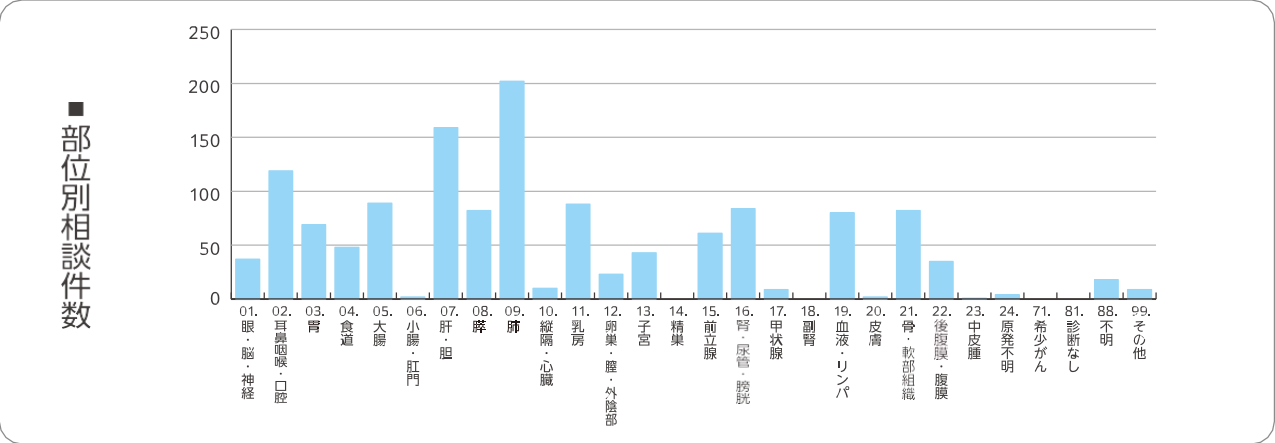


■ 令和2年がん相談支援センター報告

●がん相談支援センター概要 … 看護師やMSW（医療ソーシャルワーカー）等が、がんの患者さんやご家族からの相談をお受けし、がんについての情報提供等を行っています。

・場所 外来棟1階 患者支援センター内
 ・相談日時 平日 月曜日～金曜日 時間 9:00～17:00
 ・連絡先 TEL:0836-22-2473

●がん相談実績 …………… 総相談件数 957件



●患者サロン「れんげそう」 ・開催日時 … 第1・第3金曜日 13:00～14:30
 第2・第4水曜日 13:00～14:30
 ・場所 …………… 外来棟1階 患者相談室(患者支援センター横)
 ・参加者数 …… 延べ18名 (1～3月) ※4月以降はコロナのため休止

■れんげそう勉強会

	テーマ	開催日	患者家族参加数	職員参加数
1	化学療法と一緒に学ぼう	R2年1月23日	12	8
2	がん放射線治療と一緒に学ぼう	R2年2月21日	11	4

■ 令和2年院内がん登録室報告

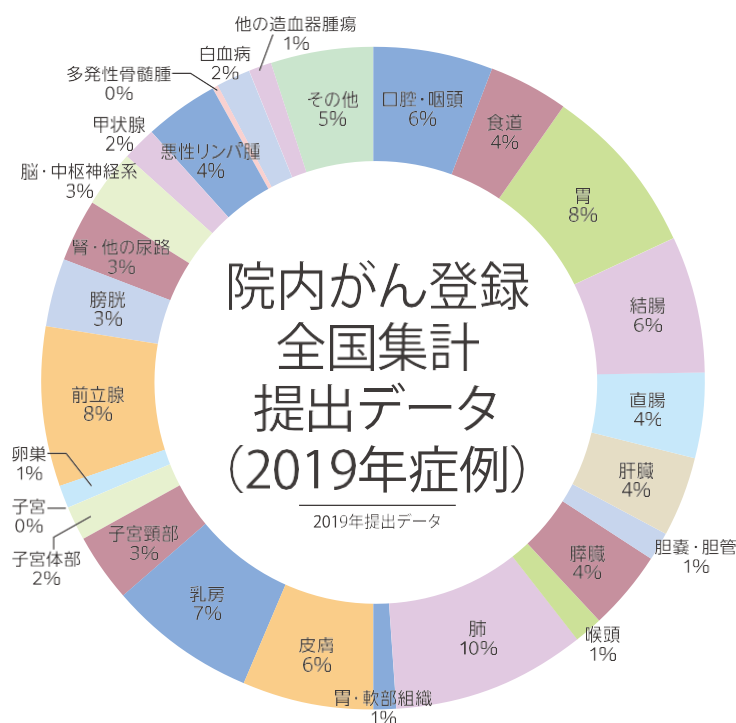
院内がん登録室は、主な業務として、院内がん登録と山口県より委託された山口県がんサーベイランスセンターの業務を担っています。

◆ 院内がん登録について

当院では、がん診療の拠点病院として多くの患者さんの診療に当たっております。その実績について、2007年1月1日診断症例から「がん診療連携拠点病院 院内がん登録標準登録様式 登録項目とその定義 2006年度版修正版」に従い、医師及び診療情報管理士等が情報の登録を開始しました。また、2016年1月1日診断症例からは「がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）第44条第1項の規定に基づいた「院内がん登録の実施に係る指針（平成27年厚生労働省告示第470号）」に従って、継続的に登録を行っております。

現在では、国立がん研究センター等が提供する研修を受講し認定された実務者（院内がん登録実務中級認定者2名、初級認定者4名）が、より正確な情報の登録による蓄積、活用を目的として継続的に業務を行っております。

部 位	2019年
口腔・咽頭	132
食道	89
胃	191
結腸	145
直腸	99
肝臓	88
胆嚢・胆管	30
膵臓	85
喉頭	30
肺	218
骨・軟部組織	22
皮膚	145
乳房	160
子宮頸部	74
子宮体部	42
子宮	0
卵巣	23
前立腺	178
膀胱	75
腎・他の尿路	66
脳・中枢神経系	65
甲状腺	34
悪性リンパ腫	81
多発性骨髄腫	9
白血病	39
他の造血器腫瘍	24
その他	108
合 計	2,252



2019年 上位5部位
1位 大腸 (結腸・直腸)244件
2位 肺218件
3位 胃191件
4位 前立腺178件
5位 乳房160件

2018年 上位5部位
1位 大腸 (結腸・直腸)223件
2位 前立腺216件
3位 肺214件
4位 胃186件
5位 乳房183件

※その他:小腸、肛門及び肛門管、鼻腔及び中耳、副鼻腔、胸腺、心臓、縦隔及び胸膜、後腹膜及び腹膜、外陰、嚢、精巣、眼及び付属器、脊髄、副腎、原発部位不明等

◆ がんサーベイランスセンターの業務について

山口県では、昭和61年より地域がん登録事業としてがん情報の収集を開始していますが、当院のがん登録室は平成19年より山口県から委託を受け山口県がんサーベイランスセンターとして、主にがん登録業務、および、研修事業の支援を行っております。

登録業務では、県内医療機関からのがん登録の届出情報の取得、全国がん登録システムへのデータ入力及びその情報の管理を行っております。また、その一貫として医療機関からの届出に加えて、年に一度、県内市町における死亡情報によって初めてがん患者と明らかになった症例について、死亡診断書を作成された医療機関に対して確認を行う「遡り調査」も併せて行っております。

研修事業の支援では、年に一度山口県が主催する全国がん登録に関する医療従事者向けの研修会の開催協力を行っております。

2020年全国がん登録届出状況

医療機関種別	届出件数
がん拠点病院	9,223
病院	8,174
診療所	104
計	17,501

令和2年度遡り調査(2018年死亡症例)

医療機関種別	依頼件数	回答件数	回答率
がん拠点病院	62	62	100%
病院	456	450	92.1%
診療所	16	12	75.0%
計	534	494	92.5%

教室関連研究会開催 報告



夜の角島大橋（下関市）

Chugai Breast Cancer Symposium in Yamaguchi

2020.1.22

基調講演

座長：濱野 公一 先生

ゲノム医療時代の鑑地検体の取り扱いと遺伝性腫瘍について

演者：伊藤 浩史 先生

山口大学大学院医学系研究科 分子病理学講座 教授

山口大学医学部附属病院 遺伝・ゲノム診療部 部長

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

進行・再発乳がん治療における初めての

免疫チェックポイント阻害剤テセントリクを適切に用いるために

演者：大谷 彰一郎 先生

広島市立広島市民病院 乳腺外科 主任部長

Chugai Breast Cancer Symposium in Yamaguchi

日時：2020年1月22日（水）19:00～20:30

会場：山口グランドホテル 2階「鳳凰」
山口市小郡黄金町1-1 Tel 083-972-7777

開催
時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、Chugai Breast Cancer Symposium in Yamaguchiを開催する運びとなりました。
ご多忙の折とは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

19:00～

基
調
講
演

座長 濱野 公一 先生

山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座 教授

「ゲノム医療時代の病理検体の取り扱いと
遺伝性腫瘍について」

演者 伊藤 浩史 先生

山口大学大学院医学系研究科 分子病理学講座 教授
山口大学医学部附属病院 遺伝・ゲノム診療部 部長

19:30～

特
別
講
演

座長 永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 教授

「進行・再発乳がん治療における
初めての免疫チェックポイント阻害剤
テセントリクを適切に用いるために」

演者 大谷 彰一郎 先生

広島市立広島市民病院 乳腺外科 主任部長

主催：中外製薬株式会社
会終了後、情報交換会を予定しております。

消化器がんと血栓症フォーラム 2020.1.23

特別講演1

座長：濱野 公一 先生

Cancer-Associated Thrombosisに対する治療戦略

演者：畑 泰司 先生

関西労災病院 下部消化器外科部長

特別講演1

座長：永野 浩昭 先生

門脈血栓症に対する治療

演者：吉田 寛 先生

日本医科大学 消化器外科 主任教授

消化器がんと血栓症フォーラム

日時 2020年1月23日（木）18:50～20:30

会場 ANAクラウンプラザホテル宇部 3階「万葉の間」
山口県宇部市相生町8-1 TEL:0836-32-1112

製品紹介（18:50～19:00）『リクシアナOD錠について』第一三共株式会社

特別講演1（19:00～19:45）

座長 山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学

教授 濱野 公一 先生

「Cancer-Associated Thrombosis
に対する治療戦略」

関西労災病院 下部消化器外科部長 畑 泰司 先生

特別講演1（19:45～20:30）

座長 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

教授 永野 浩昭 先生

「門脈血栓症に対する治療」

日本医科大学 消化器外科 主任教授 吉田 寛 先生

*講演会終了後に情報交換会を予定しております。
*マイカーにてご来場の際は、情報交換会での飲酒をお控えくださいますようお願い申し上げます。
*ご提供、ご記憶いただいたご施設名、ご芳名は医薬品および医薬・薬学に関する情報提供のために
利用させていただきます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

主催 第一三共株式会社

臨床肝移植セミナー ～多職種で進める山口の肝移植～

2020.2.7

総司会：永野 浩昭 先生

一般演題

- 肝移植術後の離床に難渋した症例への取り組み 中村 鮎美 さん

教育講演

- 消化器領域における敗血症・DIC治療 松隈 聡 先生

特別講演

東京大学における肝移植の歴史と継承

演者：赤松 延久 先生

東京大学医学部附属病院

肝胆脾外科、人工臓器移植外科 講師



臨床肝移植セミナー
～多職種で進める山口の肝移植～

日時：2020年2月7日（金）18:50～20:40
場所：山口大学医学部医修館 1階 第一講義室

総司会
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭先生

製品関連情報(18:50～19:00)
「ボルヒール組織接着剤」 一般社団法人 日本血液製剤機構

一般演題(19:00～19:10)
「肝移植術後の離床に難渋した症例への取り組み」 B6西病棟看護課 中村 鮎美さん

教育講演(19:10～19:40)
「消化器領域における敗血症・DIC治療」 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科 松隈 聡先生

特別講演(19:40～20:40)
「東京大学における肝移植の歴史と継承」 東京大学医学部附属病院 肝胆脾外科、人工臓器移植外科 講師 赤松 延久 先生

※当日は昼食をご用意しております。
つきましては、先生の所属するご施設の院内規定をご確認の上、
ご対応いただきますようお願い申し上げます。
主催 一般社団法人 日本血液製剤機構

第48回中国四国甲状腺外科研究会

2020.2.15

主題 甲状腺手術における副甲状腺機能温存のための工夫

座長：前田 訓子 先生

主題

- 甲状腺手術における副甲状腺機能低下 佐藤 陽子 先生

一般演題

- 甲状舌管遺残から発生した甲状腺乳頭癌切除後、
頸部リンパ節再発を認めた1例 古谷 圭 先生



第48回 中国四国甲状腺外科研究会



特別講演

座長：永野 浩昭 先生

肝胆膵・移植外科での低侵襲化の試み

演者：江口 晋 先生

長崎大学大学院医歯薬総合研究所

移植・消化器外科学 教授



Hepatocellular Carcinoma Webinar in 山口

2020.11.18

特別講演Ⅰ

座長：永野 浩昭 先生

最新の肝癌ナビゲーション手術と手術適応

演者：波多野 悦朗 先生

兵庫医科大学 消化器外科学講座 肝胆膵外科 主任教授

特別講演Ⅱ

座長：坂井田 功 先生

肝細胞癌治療のパラダイムシフト

～テセントリク+アバスチンがもたらすもの～

演者：山下 竜也 先生

金沢大学 先進予防医学研究センター 准教授

Hepatocellular Carcinoma Webinar in 山口

謹啓
時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度「Hepatocellular Carcinoma Webinar in 山口」を下記の通り開催いたします。
ご多忙のところとは存じますが、ぜひともご参加賜りますようお願い申し上げます。

謹白

開催概要

日時 2020年11月18日 (wed) 19:00-21:00

場所 オンライン (ZOOM) 配信
※事前参加登録をお願いします (裏面参照)

《 PROGRAM 》

特別講演Ⅰ 手術手技

19:00-20:00

座長 永野 浩昭先生
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 教授

演者 波多野 悦朗先生
兵庫医科大学 消化器外科学講座 肝胆膵外科 主任教授

「最新の肝癌ナビゲーション手術と手術適応」

特別講演Ⅱ 薬物療法

20:00-21:00

座長 坂井田 功先生
山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座 教授

演者 山下 竜也先生
金沢大学 先進予防医学研究センター 准教授

**「肝細胞癌治療のパラダイムシフト
～テセントリク+アバスチンがもたらすもの～」**

主催：中外製薬株式会社

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

膵癌化学療法の前線

演者：上野 誠 先生

神奈川県立がんセンター 消化器内科部長



第8回 山口舘・胆道疾患研究会

日時：2020年 11月 24 日(火)19:30～20:30

インターネットLIVE配信

本会はZoomのシステムを利用した講演会となりますので、
PC上での視聴となります。申し込み方法は裏面をご覧ください。

特別講演：19:30～20:30

座長 山口大学大学院医学系研究科

消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭 先生

「膵癌化学療法の前線」

演者 神奈川県立がんセンター 消化器内科

部長 上野 誠 先生

主催 大鵬薬品工業株式会社
TAIHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

Pancreatic Cancer Online Seminar in YAMAGUCHI

2020.12.7

ミニレクチャー 座長：濱野 公一 先生

- ・ 新規抗がん剤オニバイドについて 井岡 達也 先生

一般演題 座長：濱野 公一 先生

- ・ 施設における膵癌治療の取り組みについて 高橋 剛 先生
- ・ 施設における膵癌治療の取り組みについて 河岡 徹 先生

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

膵癌の集学的治療；外科医の役割

演者：里井 壮平 先生

関西医科大学付属病院

胆膵外科 診療教授



Pancreatic Cancer Online Seminar in YAMAGUCHI

本セミナーは事前申し込み制でございます
右のQRコードまたは下記URLより事前申し込みをお願いいたします
<https://bit.ly/3kySPfG>



日時 2020年12月7日(月) 19:00～20:30

19:00-19:15 ミニレクチャー



座長 濱野 公一 先生

山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学 教授

新規抗がん剤オニバイドについて



演者 井岡 達也 先生

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授

19:15-19:45 一般講演



座長 濱野 公一 先生

山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学 教授

施設における膵癌治療の取り組みについて



高橋 剛 先生

山口県済生会山口総合病院 外科 院長補佐

河岡 徹 先生

徳山中央病院 外科 部長

19:45-20:30 特別講演



座長 永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

膵癌の集学的治療；外科医の役割



演者 里井 壮平 先生

関西医科大学付属病院 胆膵外科 診療教授

※ 当日、ご参加いただいたご施設ご署名は医薬品および薬学に関する情報提供のため利用させていただくことがあります。
何卒、ご協力をお願いします。

共催：日本セルヴィエ株式会社 株式会社ヤクルト本社

2020年 業績報告



ひまわり（下関市）

英文論文

1. Nagano H. The time has come for Japanese surgeons to work in English. *Ann Gastroenterol Surg.* 2020 Jan ; 4(1) 5
2. Kotoh Y, Suehiro Y, Saeki I, Hoshida T, Maeda M, Iwamoto T, Matsumoto T, Hidaka I, Ishikawa T, Takami T, Higaki S, Fujii I, Suzuki C, Shindo Y, Tokumitsu Y, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. Novel Liquid Biopsy Test Based on a Sensitive Methylated SEPT9 Assay for Diagnosing Hepatocellular Carcinoma. *Hepatol Commun.* 2020 Jan ; 4(3) 461-470
3. Tomimaru Y, Eguchi H, Iwagami Y, Akita H, Noda T, Gotoh K, Kobayashi S, Nagano H, Mori M, Doki Y. Preoperative chemoradiotherapy using gemcitabine for pancreatic ductal adenocarcinoma in patients with impaired renal function. *Cancer Chemother Pharmacol.* 2020 Mar ; 85(3) 537-545
4. Iida M, Takeda S, Nakagami Y, Kanekiyo S, Nakashima C, Nishiyama M, Yoshida S, Suzuki N, Yoshino S, Nagano H. The effect of the visceral fat area on the predictive accuracy of C-reactive protein for infectious complications after laparoscopy-assisted gastrectomy. *Ann Gastroenterol Surg.* 2020 Mar ; 4(4) 386-395
5. Elbadawy M, Yamanaka M, Goto Y, Hayashi K, Tsunedomi R, Hazama S, Nagano H, Yoshida T, Shibutani M, Ichikawa R, Nakahara J, Omatsu T, Mizutani T, Katayama Y, Shinohara Y, Abugomaa A, Kaneda M, Yamawaki H, Usui T, Sasaki K. Efficacy of primary liver organoid culture from different stages of non-alcoholic steatohepatitis (NASH) mouse model. *Biomaterials.* 2020 Apr ; 237 119823
6. Matsukuma S, Eguchi H, Wada H, Noda T, Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Takahashi H, Kobayashi S, Nagano H. Liver resection with thrombectomy for patients with hepatocellular carcinoma and tumour thrombus in the inferior vena cava or right atrium. *BJS Open.* 2020 Apr ; 4(2) 241-251
7. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Nagano H. Laparoscopic total biopsy for suspected gallbladder cancer : A case series. *Health Sci Rep.* 2020 Apr ; 3(2) e156
8. Kim DS, Kim BW, Hatano E, Hwang S, Hasegawa K, Kudo A, Ariizumi S, Kaibori M, Fukumoto T, Baba H, Kim SH, Kubo S, Kim JM, Ahn KS, Choi SB, Jeong CY, Shima Y, Nagano H, Yamasaki O, Yu HC, Han DH, Seo HI, Park IY, Yang KS, Yamamoto M, Wang HJ. Surgical Outcomes of Hepatocellular Carcinoma With Bile Duct Tumor Thrombus: A Korea-Japan Multicenter Study. *Ann Surg.* 2020 May ; 271(5) 913-921
9. Suehiro Y, Hashimoto S, Goto A, Yamaoka Y, Yamamoto N, Suzuki N, Higaki S, Fujii I, Suzuki C, Matsumoto T, Hoshida T, Koga M, Tsutsumi T, Lim LA, Matsubara Y, Takami T, Yoshida S, Hazama S, Yotsuyanagi H, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. Fecal DNA Testing of TWIST1 Methylation Identifies Patients With Advanced Colorectal Adenoma Missed by Fecal Immunochemical Test for Hemoglobin. *Clin Transl Gastroenterol.* 2020 Jun ; 11(6) e00176
10. Nakashima-Nakasuga C, Hazama S, Suzuki N, Nakagami Y, Xu M, Yoshida S, Tomochika S, Fujiwara N, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Shindo Y, Maeda N, Tsunedomi R, Iida M, Takeda S, Yoshino S, Ueno T, Hamamoto Y, Ogihara H, Hoshii Y, Nagano H. Serum LOX-1 is a novel prognostic biomarker of colorectal cancer. *Int J Clin Oncol.* 2020 Jul ; 25(7) 1308-1317
11. Nakajima M, Kobayashi S, Wada H, Tomokuni A, Takahashi H, Noda T, Matsui H, Matsukuma S, Kanekiyo S, Shindo Y, Tokumitsu Y, Nakagami Y, Suzuki N, Takeda S, Tanabe M, Ito K, Hoshii Y, Eguchi H, Nagano H. Viral elimination is essential for improving surgical outcomes of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma: Multicenter retrospective analysis. *Ann Gastroenterol Surg.* 2020 Jul ; 4(6) 710-720
12. Yamashita Y, Aishima S, Nakao Y, Yoshizumi T, Nagano H, Kuroki T, Takami Y, Ide T, Ohta M, Takatsuki M, Nanashima A, Ishii F, Kitahara K, Iino S, Beppu T, Baba H, Eguchi S. Clinicopathological characteristics of combined hepatocellular cholangiocarcinoma from the viewpoint of patient prognosis after hepatic resection: High rate of early recurrence and its predictors. *Hepatol Res.* 2020 Jul ; 50(7) 863-870
13. Ashida R, Fukutake N, Takada R, Ioka T, Ohkawa K, Katayama K, Akita H, Takahashi H, Ohira S, Teshima T. Endoscopic ultrasound-guided fiducial marker placement for neoadjuvant chemoradiation therapy for resectable pancreatic cancer. *World J Gastrointest Oncol.* 2020 Jul ; 12(7) 768-781
14. Mori M, Ikeda N, Taketomi A, Asahi Y, Takesue Y, Orimo T, Ono M, Kuwayama T, Nakamura S, Yamada Y, Kuroda T, Yuzawa K, Hibi T, Nagano H, Unno M, Kitagawa Y. COVID-19 : clinical issues from the Japan Surgical Society. *Surg Today.* 2020 Aug ; 50(8) 794-808

15. Nakajima M, Hazama S, Tamada K, Uda K, Kouki Y, Uematsu T, Arima H, Saito A, Doi S, Matsui H, Shindo Y, Matsukuma S, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Tomochika S, Iida M, Yoshida S, Nakagami Y, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Ueno T, Nagano H. A phase I study of multi-HLA-binding peptides derived from heat shock protein70/glypican-3 and a novel combination adjuvant of hLAG-3Ig and Poly-ICLC for patients with metastatic gastrointestinal cancers : YNP01 trial. *Cancer Immunol Immunother.* 2020 Aug ; 69(8) 1651-1662
16. Takeda S, Iida M, Kanekiyo S, Nishiyama M, Tokumitsu Y, Shindo Y, Yoshida S, Suzuki N, Yoshino S, Nagano H. Efficacy of intraoperative recurrent laryngeal neuromonitoring during surgery for esophageal cancer. *Ann Gastroenterol Surg.* 2020 Sep ; 5(1) 83-92
17. Tanaka S, Fukuda J, Nakao M, Ioka T, Ashida R, Takakura R, Okagaki S, Katayama K, Ohkawa K, Ikezawa K, Nagata S. Effectiveness of Contrast-Enhanced Ultrasonography for the Characterization of Small and Early Stage Pancreatic Adenocarcinoma. *Ultrasound Med Biol.* 2020 Sep ; 46(9) 2245-2253
18. Imaoka H, Ikeda M, Maehara K, Umemoto K, Ozaka M, Kobayashi S, Terashima T, Inoue H, Sakaguchi C, Tsuji K, Shioji K, Okamura K, Kawamoto Y, Suzuki R, Shirakawa H, Nagano H, Ueno M, Morizane C, Furuse J. Clinical outcomes of chemotherapy in patients with undifferentiated carcinoma of the pancreas: a retrospective multicenter cohort study" *BMC Cancer.* 2020 Oct ; 20(1) 946
19. Maeda H, Okada K, Fujii T, Oba M, Kawai M, Hirono S, Kodera Y, Sho M, Akahori T, Shimizu Y, Ambo Y, Kondo N, Murakami Y, Ohuchida J, Eguchi H, Nagano H, Sakamoto J, Yamaue H. No Significant Effect of Daikenchuto (TJ-100) on Peritoneal IL-9 and IFN- γ Levels After Pancreaticoduodenectomy. *Clin Exp Gastroenterol.* 2020 Oct ; 13 461-466
20. Bekaii-Saab TS, Valle JW, Cutsem EV, Rimassa L, Furuse J, Ioka T, Melisi D, Macarulla T, Bridgewater J, Wasan H, Borad MJ, Abou-Alfa GK, Jiang P, Lihou CF, Zhen H, Asatiani E, Féliz L, Vogel A. FIGHT-302: first-line pemigatinib vs gemcitabine plus cisplatin for advanced cholangiocarcinoma with FGFR2 rearrangements. *Future Oncol.* 2020 Oct ; 16(30) 2385-2399
21. Mlecnik B, Bifulco C, Bindea G, Marliot F, Lugli A, Lee JJ, Zlobec I, Rau TT, Berger MD, Nagtegaal ID, Vink-Börger E, Hartmann A, Geppert C, Kolwelter J, Merkel S, Grützmann R, Van den Eynde M, Jouret-Mourin A, Kartheuser A, Léonard D, Remue C, Wang JY, Bavi P, Roehrl MHA, Ohashi PS, Nguyen LT, Han S, MacGregor HL, Hafezi-Bakhtiari S, Wouters BG, Masucci GV, Andersson EK, Zavadova E, Vocka M, Spacek J, Petruzella L, Konopasek B, Dundr P, Skalova H, Nemejcova K, Botti G, Tatangelo F, Delrio P, Ciliberto G, Maio M, Laghi L, Grizzi F, Fredriksen T, Buttard B, Lafontaine L, Bruni D, Lanzi A, El Sissy C, Haicheur N, Kirilovsky A, Berger A, Lagorce C, Paustian C, Ballesteros-Merino C, Dijkstra J, van de Water C, van Lent-van Vliet S, Knijn N, Muşină AM, Scripcariu DV, Popivanova B, Xu M, Fujita T, Hazama S, Suzuki N, Nagano H, Okuno K, Torigoe T, Sato N, Furuhashi T, Takemasa I, Itoh K, Patel PS, Vora HH, Shah B, Patel JB, Rajvik KN, Pandya SJ, Shukla SN, Wang Y, Zhang G, Kawakami Y, Marincola FM, Ascierto PA, Fox BA, Pagès F, Galon J. Multicenter International Society for Immunotherapy of Cancer Study of the Consensus Immunoscore for the Prediction of Survival and Response to Chemotherapy in Stage III Colon Cancer. *J Clin Oncol.* 2020 Nov ; 38(31) 3638-3651
22. Eguchi H, Iwagami Y, Matsushita K, Tomimaru Y, Akita H, Noda T, Gotoh K, Kobayashi S, Nagano H, Mori M, Doki Y. Randomized clinical trial of pancreaticogastrostomy versus pancreaticojejunostomy regarding incidence of delayed gastric emptying after pancreaticoduodenectomy. *Langenbecks Arch Surg.* 2020 Nov ; 405(7) 921-928
23. Kang JS, Lee C, Song W, Choo W, Lee S, Lee S, Han Y, Bassi C, Salvia R, Marchegiani G, Wolfgang CL, He J, Blair AB, Kluger MD, Su GH, Kim SC, Song KB, Yamamoto M, Higuchi R, Hatori T, Yang CY, Yamaue H, Hirono S, Satoi S, Fujii T, Hirano S, Lou W, Hashimoto Y, Shimizu Y, Chiaro MD, Valente R, Lohr M, Choi DW, Choi SH, Heo JS, Motoi F, Matsumoto I, Lee WJ, Kang CM, Shyr YM, Wang SE, Han HS, Yoon YS, Besselink MG, van Huijgevoort NCM, Sho M, Nagano H, Kim SG, Honda G, Yang Y, Yu HC, Do Yang JD, Chung JC, Nagakawa Y, Seo HI, Choi YJ, Byun Y, Kim H, Kwon W, Park T, Jang JY. Risk prediction for malignant intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: logistic regression versus machine learning. *Sci Rep.* 2020 Nov ; 10(1) 20140
24. Tsunedomi R, Yoshimura K, Suzuki N, Hazama S, Nagano H. Clinical implications of cancer stem cells in digestive cancers: acquisition of stemness and prognostic impact. *Surg Today.* 2020 Dec ; 50(12) 1560-1577

25. Matsukuma S, Nagano H, Kobayashi S, Wada H, Seo S, Tsugawa D, Okuyama H, Iida K, Ohmura Y, Takeda Y, Miyamoto A, Nakashima S, Yamada T, Ajiki T, Tsuji A, Yoshimura K, Eguchi H, Hatano E, Ioka T. The impact of peritoneal lavage cytology in biliary tract cancer (KHBO1701): Kansai Hepato-Biliary Oncology Group. *Cancer Rep (Hoboken)*. 2020 Dec e1323
26. Nara S, Esaki M, Ban D, Takamoto T, Shimada K, Ioka T, Okusaka T, Ishii H, Furuse J. Adjuvant and neoadjuvant therapy for biliary tract cancer : a review of clinical trials. *Jpn J Clin Oncol*. 2020 Dec ; 50(12) 1353-1363
27. Ueno M, Nakamori S, Sugimori K, Kanai M, Ikeda M, Ozaka M, Furukawa M, Okusaka T, Kawabe K, Furuse J, Komatsu Y, Ishii H, Sato A, Shimizu S, Chugh P, Tang R, Ioka T. nal-IRI+5-FU/LV versus 5-FU/LV in post-gemcitabine metastatic pancreatic cancer: Randomized phase 2 trial in Japanese patients. *Cancer Med*. 2020 Dec ; 9(24) 9396-9408
28. Eguchi H, Kawamoto K, Tsujie M, Yukawa M, Kubota M, Asaoka T, Takeda Y, Noda T, Shimizu J, Nagano H, Doki Y, Mori M. A Prospective, Multi-Center Phase I Study of Postoperative Enoxaparin Treatment in Patients Undergoing Curative Hepatobiliary-Pancreatic Surgery for Malignancies. *Dig Surg*. 2020 ; 37(1) 81-86
29. Sakon M, Kobayashi S, Wada H, Eguchi H, Marubashi S, Takahashi H, Akita H, Gotoh K, Yamada D, Asukai K, Hasegawa S, Ohue M, Yano M, Nagano H. ""Logic-Based Medicine"" Is More Feasible than ""Evidence-Based Medicine"" in the Local Treatment for Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*. 2020 ; 98(5) 259-266

和文論文

1. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、
碓 彰一、白濱つづり、河野裕夫、永野浩昭 術前化学療法によって病理学的完全奏効が得られた他臓器浸潤局所進行直腸癌の
1例 癌と化学療法 第47巻 第3号 2020年3月 531-533
2. 井岡達也、小林省吾、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、江口英利、永野浩昭 進行胆道癌の化学療法
胆と膵 第41巻 第5号 2020年5月 451-454
3. 井岡達也、小林省吾、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、江口英利、永野浩昭 初診時切除不能症例に対
する治療選択 臨床外科 第75巻 第6号 2020年6月 718-722
4. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
疑診例に対する外科治療の進め方 胆と膵 第41巻 第9号 2020年9月 881-887
5. 碓 彰一 炎症と癌免疫療法 消化器外科 第43巻 第10号 通巻第544号 2020年9月 1475-1480
6. 堤 甲輔、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、兼清信介、西山光郎、中島千代、山本常則、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、
吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 食道癌術後の再発リンパ節が再建胃管に穿通した1例 癌と化学療法 第47巻 第13
号 2020年12月 1902-1904
7. 鈴木有十夢、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、
吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 診断に苦慮した膵脂肪肉腫の1例 癌と化学療法 第47巻 第13号 2020年12月 1921-1923
8. 飯田通久、原田栄二郎、宮崎健介、末廣祐樹、近藤潤也、濱野公一、藤谷和正、永野浩昭 山口県における胃癌の三次化学療法
に関するアンケート調査 癌と化学療法 第47巻 第13号 2020年12月 2003-2005
9. 濱崎太郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、中島千代、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、
碓 彰一、吉野茂文、井岡達也、永野浩昭 放射線照射で止血が得られた切除不能進行胃癌の2例 癌と化学療法 第47巻 第13
号 2020年12月 2364-2366
10. 鍋屋まり、前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、山本達人、久保秀文、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 乳癌術後7年
経過後、再建手術3年経過後に乳房内局所再発を来した1例 癌と化学療法 第47巻 第13号 2020年12月 2403-2405

国際学会発表・司会

AACR ANNUAL MEETING 2020(Virtual Meeting) 2020 6/22-6/24 Virtual Meeting

1. Nakajima M, Hazama S, Tamada K, Uda K, Doi S, Sakamoto M, Saito A, Akinaga S, Matsui H, Shindo Y, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Tomochika S, Iida M, Yoshida S, Tsunedomi R, Nakagami Y, Suzuki N, Takeda S, Nagano H. Immunological and histopathological tumor responses to a novel neoadjuvant peptide vaccine (CYT001) targeting HSP70 and GPC3 antigens in patients with resectable HCC. Poster.

国内学会・研究会 発表・司会

第42回日本癌局所療法研究会 5月 誌上開催

1. 鈴木伸明、碓 彰一、新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、中上裕有樹、兼清信介、友近 忍、前田訓子、恒富亮一、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、小笠原定久、坂元亨宇、加藤直也、永野浩昭 切除可能肝細胞癌に対する微小環境をターゲットにした新規ペプチドワクチン療法 主題
2. 飯田通久、原田栄二郎、宮崎健介、近藤潤也、末廣祐樹、高橋剛、濱野公一、藤谷和正、永野浩昭 山口県における胃癌三次化学療法の現況および意識調査 一般演題
3. 堤 甲輔、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、中島千代、山本常則、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 食道癌術後の再発リンパ節が再建胃管に穿通した1例 一般演題
4. 千々松日香里、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 術前化学放射線療法後に腹腔鏡補助下骨盤内蔵全摘術を完遂した直腸癌吻合部再発の1例 一般演題
5. 鈴木有十夢、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 診断に苦慮した脾脂肪肉腫の一例 ポスター
6. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 メシル酸イマチニブの術前投与により低侵襲根治手術を施行し得た直腸GISTの1例 ポスター
7. 濱崎太郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、中島千代、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、永野浩昭 放射線照射で止血が得られた切除不能進行胃癌の2例 ポスター
8. 鍋屋まり、前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、久保秀文、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 乳癌術後7年経過後再建術を施行した乳房内局所再発の1例 一般演題
9. 藤本拓也、新藤芳太郎、鈴木伸明、貞廣浩和、森廣雄介、日山篤人 早期に集学的治療を再開し得た直腸癌穿通によるフルニ工壊死の1例 一般演題
10. 亀井滝士、山本達人、藤原康弘、坂本和彦、北村義則、安藤静一郎、松井洋人、吉野茂文、永野浩昭 Imatinibが長期奏功している多発肝転移・腹膜播種・骨転移を認めた原発不明GISTの一例 ポスター

第37回日本胆膵病態・生理研究会 6月 誌上開催

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 脾癌十二指腸浸潤症例に対する腹腔鏡下胃空腸バイパス術 主題演題

第113回日本消化器病学会中国支部例会 6月 誌上開催

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における切除可能境界脾癌に対する治療戦略と成績 ワークショップ

第92回日本胃癌学会総会 7/1-7/31 WEB開催

1. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道胃接合部癌の郭清範囲の検討 口演
2. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔細胞診陽性または腹膜播種胃癌に対するR0/1切除後の検討 口演
3. 武田 茂、飯田通久、西山光郎、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における80歳以上の高齢者消化器胃癌患者の特徴と予後 ポスター
4. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科における進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の成績 ポスター

第41回癌免疫外科研究会 7/16 大阪 千里ライフサイエンスセンター

1. 永野浩昭 教育講演4（アフタヌーンセミナー） 教育講演 司会
2. 裕 彰一 主題 I-2 癌微小環境の制御と免疫応答の効率化 主題 司会
3. 鈴木伸明、裕 彰一、恒富亮一、千々松日香里、中上裕有樹、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 大腸癌症例における免疫原性を示すネオアンチゲンペプチドの同定 特別企画
4. 友近 忍、裕 彰一、鈴木伸明、桑原太一、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌治療切除後の予後予測マーカーとしての免疫関連因子（特にCD20陽性細胞）の検討 特別企画
5. 中上裕有樹、裕 彰一、玉田耕治、宇高恵子、土肥 俊、坂元亨宇、齋藤 彰、秋永士朗、安達圭志、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、恒富亮一、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 HCCに対する新規術前後ワクチン療法症例の免疫反応—マスサイトメトリーによるT細胞の探索的データ解析— 主題
6. 山田健介、裕 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、恒富亮一、徐明、中上裕有樹、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌微小環境におけるマクロファージ由来 Siglec-7の発現と免疫療法効果予測マーカーとしての役割 主題
7. 新藤芳太郎、裕 彰一、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、中上裕有樹、兼清信介、恒富亮一、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、小笠原定久、坂元亨宇、加藤直也、永野浩昭 切除可能肝細胞癌に対する新規ペプチドワクチンを用いた周術期補助療法の開発 主題
8. 中島正夫、佐古田幸美、安達圭志、永野浩昭、玉田耕治 固形がんに対する抗PD-1一本鎖抗体産生型CAR-T細胞による新規免疫療法の開発 主題
9. 中島千代、裕 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、山田健介、徳光幸生、中島正夫、西山光郎、前田訓子、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌の予後バイオマーカーとなりうる血清LOX-1の検討 一般口演
10. 松井洋人、裕 彰一、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、恒富亮一、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 樹状細胞ワクチンによる肝細胞癌術後補助療法（第I/II相臨床試験）—最終報告と今後の展望— 一般口演
11. 吉田 晋、裕 彰一、友近 忍、鈴木伸明、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌化学療法における早期の減量・休薬に関連する因子 ポスター
12. 山本常則、裕 彰一、桑原太一、中上裕有樹、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、河上 裕、永野浩昭 大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と炎症性サイトカインの関係 ポスター
13. 千々松日香里、吉野茂文、飯田通久、武田 茂、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、裕 彰一、永野浩昭 Nivolumab投与中に肺結核を発症した切除不能進行胃癌の一例 ポスター

第106回日本消化器病学会総会 8/11-8/13 誌上開催（一部のセッションのみWebオンデマンド配信）

1. 井岡達也 肝癌化学療法2 一般演題（ポスター） 司会

第120回日本外科学会定期学術集会 8/13-8/15 WEB開催

1. 裕 彰一 [DP-024] デジタルポスター（24） 大腸 基礎・バイオマーカー デジタルポスター 司会
2. 永野浩昭 [WS-17] ワークショップ（17） 再生医療の実現—外科医に期待される役割— ワークショップ 司会
3. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、裕 彰一、永野浩昭 当院における十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の経験 サージカルフォーラム
4. 濱崎太郎、飯田通久、武田 茂、兼清信介、中島千代、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、山本 滋、裕 彰一、吉野茂文、永野浩昭 周術期輸血が胃癌根治切除後の予後に与える影響 デジタルポスター
5. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、前田訓子、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後腸瘻イレウスの検討 デジタルポスター
6. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における下部進行直腸癌に対する側方郭清の検討 デジタルポスター
7. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除におけるグリソン確保の工夫と短期成績 デジタルポスター

8. 木村祐太、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝転移症例に対する肝切除と術後血小板減少 デジタルポスター
9. 前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋 乳癌センチネルリンパ節生検省略を目指した CT-lymphography (CTLG) 症例の検討 サージカルフォーラム
10. 新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、恒富亮一、兼清信介、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Pancreatotomy with arterial resection for locally advanced pancreatic cancer ワークショップ
11. 山本 滋、西田裕紀、得能和久、河岡 徹、爲佐卓夫、前田訓子、永野浩昭 乳腺把持専用鉗子を用いた乳房温存手術 デジタルポスター
12. 千々松日香里、鈴木伸明、友近 忍、吉田 晋、松隈 聡、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科における局所進行/転移性直腸癌に対する術前化学療法の意義 デジタルポスター
13. 高市翔平、富丸慶人、小林省吾、武田 裕、中平 伸、辻江正徳、湯川真生、清水潤三、村上昌裕、宮本敦史、浅岡忠史、酒井健司、森本修邦、鳥正 幸、山本為義、福地成晃、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 プロペンシティスコア解析を用いた腹腔鏡下肝切除における予防的ドレーン留置の意義の検討 (多施設共同研究; 大阪大学消化器外科共同研究会・肝胆膵疾患分科会) デジタルポスター
14. 徳久晃弘、徳光幸生、松隈 聡、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、恒富亮一、兼清信介、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 75 歳以上の高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の検討 デジタルポスター
15. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、中島千代、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行胸部食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術の手術成績 ワークショップ
16. 山本常則、武田 茂、飯田通久、西山光郎、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 胃癌に対する腹腔鏡下胃切除例における術前内臓脂肪と骨格筋量の臨床的意義 サージカルフォーラム
17. 鈴木伸明、碓 彰一、玉田耕治、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、土肥 俊、山下慶子、上野富雄、永野浩昭 消化器癌における抑制性免疫解除と革新的新規免疫療法の開発 サージカルフォーラム
18. 山田健介、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、恒富亮一、徐明、中上裕有樹、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌ペプチドワクチン療法における予後予測マーカーとしての Siglec-7 の検討 サージカルフォーラム
19. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、山本常則、木村祐太、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Nivolumab を投与した胃癌症例の末梢血好中球/リンパ球比 (NLR) の推移の検討 デジタルポスター
20. 佐藤陽子、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 Stage IV 乳癌に対する原発巣切除症例の検討 デジタルポスター
21. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌化学療法における減量・休薬に関連する因子の検討 デジタルポスター

第56回日本肝臓学会総会 8/28-8/29 LIVE配信

1. 永野浩昭 【基調講演】肝移植医療における内科・外科連携 パネルディスカッション 司会

第56回日本肝臓学会総会 8/28-8/29 誌上開催

1. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、上野富雄、永野浩昭 教室の腹腔鏡下肝切除における術後感染性合併症の現状 セッション (一般口演)
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、永野浩昭 「胆嚢牽引法を用いた肝門部グリッソン一括確保」の門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌手術への応用 セッション (一般口演)

第47回日本膵切研究会 8/28-8/29 福岡 九州大学百年講堂

1. 井岡達也 ランチョンセミナー1 ランチョンセミナー
2. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、藤本拓也、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
膵神経内分泌腫瘍に対する至適切除術式の検討 要望演題

第56回日本胆道学会学術集会 10/1-10/2 オンライン&誌上開催

1. 井岡達也 胆道癌治療の最前線 ランチョンセミナー 座長
2. 永野浩昭 ビデオセッション3 手術 一般演題ビデオセッション 座長
3. 井岡達也、小林省吾、永野浩昭 指導医養成講座2 胆道癌化学療法の前線 指導医養成講座
4. 山下洋市、中尾陽佑、吉住朋晴、永野浩昭、黒木 保、高見裕子、井手貴雄、太田正之、高槻光寿、七島篤志、石井文規、北原賢二、相島慎一、馬場秀夫、江口 晋 混合型肝臓の早期再発因子と早期再発危険群に対する術後補助化学療法の意義：九州肝臓外科研究会多施設共同研究 一般演題口演

第79回日本癌学会学術総会（ハイブリッド開催） 10/1-10/3 広島 リーガロイヤルホテル広島メルパルク広島

1. 井岡達也 Luncheon Seminars Luncheon Seminars 座長
2. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、
裕 彰一、永野浩昭 治療抵抗性肝臓幹細胞様 Sphere 細胞における RAB3B 遺伝子 Oral Sessions
3. 中上裕有樹、裕 彰一、玉田耕治、土肥 俊、坂元亨字、加藤直也、齋藤 彰、秋永士朗、安達圭志、徐明、松井洋人、
新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、恒富亮一、永野浩昭 切除可能な HCC に対する新規術前後ペプチドワクチン療法施行症
例の免疫チェックポイントの TIL 解析 Oral Sessions

第24回日本がん免疫学会総会（ハイブリッド開催） 10/7-10/9 北海道 ホテルライフオーポート札幌

1. 恒富亮一、裕 彰一、千々松日香里、中上裕有樹、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、
吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 個別化医療に向けた免疫原性を示すネオアンチゲンペプチドの同定
ワークショップ
2. NAKAGAMI Y, HAZAMA S, TAMADA K, UDAKA K, DOI S, SAKAMOTO M, SAITO A, AKINAGA S, ADACHI K, MATSUI H,
SHINDO Y, MATSUKUMA S, TOKUMITSU Y, TOMOCHIKA S, IIDA M, YOSHIDA S, TSUNEDOMI R, SUZUKI N,
TAKEDA S, NAGANO H Tumor response to a novel neoadjuvant peptide vaccine therapy targeting resectable HCC
patients : Mass cytometry analysis 一般演題

第95回中国四国外科学会総会第25回中国四国内視鏡外科研究会 10/8-10/21 WEB開催

1. 鈴木伸明 研修医・専攻医セッション2 大腸・小腸・肛門・他1 研修医・専攻医セッション 司会
2. 木村祐太、吉田 晋、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、西田周泰、坂井孝司、三島克章、
篠田 晃、黒川典枝、松山豪泰、濱野公一、永野浩昭 山口大学における新たな外科教育への取り組み～現状と展望～ 特別
企画
3. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、渡邊裕策、山本常則、中島千代、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、
前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 呼吸器合併症ハイリスク症例の食道
切除術後管理におけるモニタリング、治療的抗生剤の有用性について シンポジウム
4. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、
武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 メシル酸イマチニブの術前投与により低侵襲根治手術を施行し得た直
腸GISTの1例 一般演題
5. 千々松日香里、鈴木伸明、友近 忍、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、飯田通久、
武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における人工肛門閉鎖術後の創管理の工夫 一般演題
6. 徳久晃弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、
武田 茂、
井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下核出術を施行した膵頭部神経内分泌腫瘍の1例 一般演題
7. 古谷 圭、前田訓子、佐藤陽子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 乳房温存手術における
乳腺円状部分切除補助器具の使用経験 一般演題
8. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、
井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における安全なTaTME導入への工夫 一般演題

9. 酒井豊吾、武田 茂、兼清信介、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、中島千代、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 右上葉気管分岐異常を伴う胸部食道癌1切除例 研修医・専攻医セッション

第56回日本腹部救急医学会総会（ハイブリッド開催） 10/8-11/2 愛知 名古屋マリオットアソシアホテル

1. 永野浩昭 ビデオワークショップ3 腹部外傷に対する開腹手術 ビデオワークショップ 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝内門脈瘤を伴った肝内門脈肝静脈シャントの外傷性破裂の1例 一般口演
3. 濱崎太郎、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 妊婦に発症した急性虫垂炎に対する腹腔鏡手術での工夫 一般口演
4. 山本常則、武田 茂、西山光郎、兼清信介、飯田通久、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部食道癌術後に発症した食道裂孔ヘルニアの4例 一般口演
5. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腎細胞癌に対するチロシンキナーゼ阻害剤の加療中に回腸穿孔を発症したびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の一例 ポスター

第74回手術手技研究会 10/9-10/10 島根 くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）

1. 永野浩昭 ランチョンセミナー2 ランチョンセミナー 司会
2. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科におけるTaTME導入と短期治療成績 サージカルフォーラム
3. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 S7/8単発3cm以下の部分切除症例は腹腔鏡手術の良い適応となりうる サージカルフォーラム
4. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、中島千代、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の経験 サージカルフォーラム
5. 前田訓子、佐藤陽子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 乳腺円状部分切除補助器具を用いた乳房温存手術の工夫 サージカルフォーラム

第28回日本乳癌学会学術総会 10/9-10/31 WEB開催

1. 前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 cN0乳癌におけるCT-lymphography（CTLG）でのSLN転移予測の有用性 ポスター
2. 佐藤陽子、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 乳房専用PET検査（dedicated breast PET:dbPET）の使用経験 ポスター

第58回日本癌治療学会学術集会 10/22-10/24 京都 国立京都国際会館ザ・プリンス京都宝ヶ池(旧・グランドプリンスホテル京都)

1. 永野浩昭 臓器別シンポジウム24 転移性肝がんの治療戦略 臓器別シンポジウム 司会
2. 井岡達也 がん疼痛治療の新しい選択肢－放出調節膜を内包する3日用フェンタニル貼付剤の有効性と安全性－ 学術セミナー
3. 井岡達也 消化器癌と血栓症 学術セミナー
4. 恒富亮一、吉村 清、木村祐太、西山光郎、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 誘導癌幹細胞における免疫逃避機構の検討 一般口演
5. 中上裕有樹、碓 彰一、玉田耕治、土肥 俊、坂元亨字、加藤直也、齋藤 彰、安達圭志、徐明、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、恒富亮一、永野浩昭 切除可能な HCC に対する新規術前後ペプチドワクチン療法症例の組織病理・免疫的反応 一般口演
6. 中島雄一郎、田中善宏、竹内裕也、大辻英吾、永野浩昭、松原久裕、馬場秀夫、江見泰徳、沖 英次、上野尚雄、富塚 健、森田智視、前原喜彦、北川雄光、吉田和弘 食道癌 DCF 療法における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制の検討(EPOC2 試験:JFMC49-1601-C5) プレナリーセッション

第82回日本臨床外科学会総会 10/29-11/30 WEB開催

1. 永野浩昭 進行肝細胞癌切除治療上の治療戦略 パネルディスカッション 司会
2. 碓 彰一 Frail患者に対する対策・治療指針(大腸・直腸) ワークショップ 司会
3. 井岡達也 胆道癌に対する術前・術後補助療法の意義 ワークショップ 司会

4. 鈴木伸明 小腸：悪性1 一般演題（口演） 座長
5. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 当院における門脈内腫瘍栓を伴った肝細胞癌に対する集学的治療 パネルディスカッション
6. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 腹腔鏡下再肝切除における新しい難易度評価指標の提案 ビデオパネルディスカッション
7. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における一時的人工肛門造設時の至適部位に関する検討 ワークショップ
8. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼定 航、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科におけるFrail症例を含めた高齢者大腸癌患者に対する大腸癌治療の現状と対策 ワークショップ
9. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 臍頭十二指腸切除における臍液瘻ハイリスク症例に対する臍管完全外瘻及び二期の再建術 主題関連演題
10. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 Borderline resectable (BR-A) 膵癌に対する術前化学療法の有効性 主題関連演題
11. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、橋本真一、坂井田功、上野富雄、永野浩昭 クローン病に対する術前CT enterographyの有用性の検討 一般演題（口演）
12. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡手術が有用であった直腸癌術後吻合部再発の1例 一般演題（口演）
13. 古谷 圭、前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 甲状舌管嚢胞から発生した甲状腺乳頭癌切除後、頸部リンパ節再発を認めた1例 一般演題（口演）
14. 小林吾省、後藤邦仁、野田剛広、高橋秀典、和田浩志、坂井大介、秋田裕史、岩上佳史、山田大作、富丸慶人、井岡達也、波多野悦朗、永野浩昭、土岐祐一郎、江口英利 胆道癌に対する術前治療の可能性 ワークショップ
15. 長島由紀子、佐伯晋吾、北原正博、近藤潤也、坂本和彦、矢原 昇、安部俊弘、吉野茂文、林 弘人、前田訓子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 術前診断に難渋した放射線誘発性血管肉腫の1例 一般演題（示説）

第56回日本移植学会総会 11/1-11/30 WEB開催

1. 永野浩昭 学会委員会企画 3 生体ドナー安全委員会 生体ドナー基準の現状と課題 学会委員会企画 座長
2. 篠田昌宏、長谷川康、大島 剛、高岡千恵、尾原秀明、北郷 実、阿部雄太、八木 洋、松原健太郎、山田洋平、堀周太郎、伊澤由香、黒田達夫、日比泰造、永野浩昭、北川雄光 ドナー安全性から考える生体肝移植ドナー基準の現状と課題 学会委員会企画
3. 日下 守、上野豪久、江口英利、伊達洋至、丸橋 繁、湯沢賢治、永野浩昭 生体ドナー基準の現状と課題 腎移植領域に関して 学会委員会企画
4. 上野豪久、岡島英明、星野 健、和田 基、松浦俊治、阪本靖介、工藤博典、山田洋平、永野浩昭 生体ドナー基準の現状と課題 小腸移植領域に関して 学会委員会企画

JDDW 2020第28回日本消化器関連学会週間 11/5-11/8 兵庫 神戸コンベンションセンター

1. 永野浩昭 門脈圧亢進症：分子機構・診断・治療の進歩 ワークショップ 司会
2. 井岡達也 膵癌治療の最新の進歩（Recent advancement in pancreatic cancer） International Session (Symposium) Discussant
3. 碓 彰一 ポスター優秀演題賞 ポスター 座長
4. 碓 彰一 大腸・小腸：悪性 一般演題(デジタルポスターセッション) 座長
5. 鈴木伸明、碓 彰一、永野浩昭 大腸癌に対する translational research を目指した新規複合免疫・ペプチドワクチン療法の開発 ワークショップ
6. 松隈 聡、江口英利、永野浩昭 右房内・下大静脈内腫瘍栓を伴った高度進行肝細胞癌に対する肝切除を中心とした集学的治療 パネルディスカッション
7. 徳光幸生、新藤芳太郎、永野浩昭 高齢者消化器がん手術における術後譫妄リスク評価 統合プログラム

10. 武田 茂、飯田通久、永野浩昭 食道癌手術における周術期栄養介入の検討 パネルディスカッション
11. 松井洋人、新藤芳太郎、永野浩昭 教室における IPMN の至適切除術式の検討 ワークショップ
12. 恒富亮一、吉村 清、木村祐太、西山光郎、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 抗がん剤耐性・転移能亢進を示す肝癌幹細胞における免疫逃避機構の検討 一般演題(デジタルポスターセッション)
13. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、山本常則、中島千代、西山光郎、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、松井洋人、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 80歳以上胃癌術後の短期および長期成績に影響を及ぼす術前因子の解析 一般演題(デジタルポスターセッション)
14. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 多発肝腫瘍に対する多部位腹腔鏡下肝切除術の適応と治療成績 一般演題(デジタルポスターセッション)
15. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、藤田智信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌の予後予測マーカーとしての腫瘍浸潤リンパ球の検討 一般演題(デジタルポスターセッション)
16. 藤本祐子、戒能聖治、津山高典、天野彰吾、播磨博文、末永成之、松井洋人、永野浩昭、坂井田功 当院における膵癌の術前化学療法施行例における胆道ドレナージの現状 一般演題(デジタルポスターセッション)

第50回胃外科・術後障害研究会 11/13-11/14 WEBライブ配信

1. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 当科における食道空腸吻合に対するOverlap法の手術成績 一般演題
2. 飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、山本常則、中島千代、西山光郎、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、永野浩昭 CRPによる胃癌術後の感染性合併症予測は内臓脂肪面積に影響される 一般演題

第75回日本大腸肛門病学会学術集会 11/13-11/14 WEB開催

1. 碓 彰一 一般口演22 大腸悪性3 一般演題口演 座長
2. 鈴木伸明、友近 忍、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における TaTME 導入の工夫と短期治療成績 ワークショップ (ビデオ)
3. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 環状皮膚縫合と陰圧閉鎖療法による人工肛門閉鎖術後の創管理 要望演題
4. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における一時的回腸人工肛門造設後の短期合併症の検討 一般演題口演
5. 千々松日香里、鈴木伸明、橋本真一、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当院における内科外科連携した直腸 NET 治療成績の検討 一般演題口演
6. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌に対する Oxaliplatin 併用療法における早期の減量・休薬に関連する因子 一般演題ポスター
7. 藤井敏之、碓 彰一、木谷聡一郎、吉田一也 骨盤臓器脱に対し、直腸後方メッシュ固定による腹腔鏡下直腸・子宮つり上げ固定術を行い奏功した1例について 一般演題口演

第33回日本バイオセラピー学会学術集会総会 11/19-11/20 WEB配信・誌上発表

1. 中上裕有樹、碓 彰一、玉田耕治、土肥 俊、坂元亨宇、加藤直也、齋藤 彰、秋永士朗、安達圭志、徐明、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、飯田通久、吉田 晋、恒富亮一、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 マスサイトメトリー解析による切除可能な肝細胞癌に対する新規術前ペプチドワクチン+免疫アジュバント併用療法施行症例のバイオマーカー探索 ワークショップ
2. 新藤芳太郎、碓 彰一、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、中上裕有樹、渡邊裕策、恒富亮一、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、小笠原定久、坂元亨宇、加藤直也、永野浩昭 周術期補助療法としての肝細胞癌に対する新規ペプチドワクチン療法 要望演題
3. 山本常則、碓 彰一、中上裕有樹、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、飯田通久、吉田 晋、恒富亮一、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、河上 裕、永野浩昭 大腸癌予後因子としての腫瘍浸潤リンパ球と炎症性サイトカインの関係 要望演題

第33回日本外科感染症学会総会学術集会 11/27-11/28 WEB開催

1. 武田 茂 腹腔感染症の現状と治療戦略 シンポジウム 座長
2. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、藤本拓也、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、宮原悠太、敷地恭子、鈴木伸明、井岡達也、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 教室の肝胆脾外科領域における腹腔内術後感染症対策の現状と課題～ESBL産生菌による術後感染症を中心として～ シンポジウム

第114回日本消化器病学会中国支部例会第125回日本消化器内視鏡学会中国支部例会日本消化器病学会中国支部 第32回教育講演会 12/5-1/8 ライブ配信・オンデマンド配信

1. 井岡達也、新藤芳太郎、松井洋人、徳光幸生、永野浩昭 切除不能胆道癌に対する Gem+CDDP+S-1 (GCS) 療法により可能になった Conversion Surgery ワークショップ
2. 松井洋人、井岡達也、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、藤原康弘、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 GCS療法による術前化学療法を施行した高齢者進行肝内胆管癌の一例 一般演題
3. 藤本祐子、戒能聖治、津山高典、末永成之、松井洋人、河野裕夫、坂井田功 術前の鑑別診断に苦慮した脾内副脾の1例 一般演題

第74回日本食道学会学術集会 12/10-12/11 徳島 JRホテルクレメント徳島

1. 武田 茂 化学(放射線)療法2 ポスター 座長
2. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 StageII/III食道癌の術前化学療法におけるFDG-PET検査の意義 一般口演
3. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、中島千代、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 ハイリスク症例におけるミントラック及び治療的抗生剤投与による食道癌術後肺炎予防効果について ポスター
4. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 当科における再発食道癌の治療成績 ポスター
5. 山本常則、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、中島千代、鈴木伸明、吉野茂文、裕 彰一、永野浩昭 術前サルコペニアが食道癌患者の術後成績に及ぼす影響 ポスター

第75回日本消化器外科学会総会 12/15-12/17 和歌山 和歌山ビッグウエーブ

1. Nagano H Symposium4 Current status and future perspectives of clinical research in liver surgery: Establishment of evidence by integration of art and science Symposium 司会
2. 永野浩昭 ランチョンセミナー24 消化器疾患に伴うDIC対策の標準化を考える ランチョンセミナー 座長
3. 裕 彰一 一般演題195 大腸:基礎1 一般演題 座長
4. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、中島千代、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 食道癌手術における術中神経モニタリングの有用性 ビデオシンポジウム
5. 松井洋人、裕 彰一、中上裕有樹、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、玉田耕治、永野浩昭 免疫チェックポイント阻害剤を基軸とした汎用性の高い新規免疫治療の開発 ワークショップ
6. 永野浩昭 消化器外科学会・会員アンケートをふまえて 特別企画
7. 中島正夫、小林省吾、和田浩志、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、高橋秀典、江口英利、永野浩昭 HCVに起因する肝細胞癌の外科治療成績はDAAによるウイルス排除により改善されうる～多施設共同研究～ ワークショップ
8. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、藤井敏行、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 当科における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手法と成績 要望演題ビデオ
9. 古谷 圭、武田 茂、西山光郎、兼清信介、山本常則、飯田通久、鈴木伸明、吉田 晋、吉野茂文、永野浩昭 当科における食道癌根治切除術後再発に対する治療成績の検討 一般演題
10. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、中島千代、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 食道癌術後呼吸器合併症予防におけるミントラック、治療的抗生剤の有用性 一般演題
11. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、裕 彰一、永野浩昭 腹腔鏡下胃全摘術の食道空腸吻合方法の検討 一般演題
12. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、中島千代、西山光郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 高齢者胃癌手術後の短期および長期成績に影響を及ぼす術前因子の解析 一般演題
13. 濱崎太郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、中島千代、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、永野浩昭 低用量イマチニブが奏効したGIST再発症例 一般演題
14. 千々松日香里、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌取り扱い規約改訂の検証—当科におけるStage II/III症例での治療成績— 一般演題

15. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、中上裕有樹、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下直腸癌手術における縫合不全リスク因子とその対策 一般演題
16. 山本常則、裕 彰一、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 大腸癌切除例における腫瘍浸潤リンパ球と血中炎症関連マーカーの関係の検討 一般演題
17. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、永野浩昭 75歳以上の大腸癌患者における術後2年以内の他病死に関連する因子の検討 一般演題
18. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における高齢者大腸癌腹腔鏡手術症例の検討 一般演題
19. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 肝癌幹細胞におけるRAB3Bの機能解析 一般演題
20. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下右葉系系統的肝切除におけるグリソン確保の定型化 一般演題
21. 中上裕有樹、裕 彰一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、恒富亮一、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 肝細胞癌に対する術前免疫療法施行症例の切除標本を用いたマスマイトメトリーによる腫瘍浸潤免疫細胞の解析 一般演題
22. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 高度進行胆嚢癌に対する術前化学療法の効果 一般演題
23. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、永野浩昭 当科における切除可能境界肝癌に対する治療戦略と成績 一般演題
24. 徳久晃弘、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 当科におけるStage1肝癌の治療成績 一般演題
25. 中尾陽佑、山下洋市、相島慎一、吉住朋晴、永野浩昭、黒木 保、高見裕子、井出貴雄、馬場秀夫、江口 晋 混合型肝癌に関する九州肝臓外科研究会多施設共同研究 一般演題

第56回日本肝癌研究会 12/22-12/23 WEB開催

1. 永野浩昭 肝細胞癌治療の近未来 外科のアプローチ、内科のアプローチ モーニングセミナー 座長
2. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、野田剛広、和田浩志、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、小林省吾、高橋秀典、上野富雄、江口英利、永野浩昭 IVC/RA腫瘍栓を伴った高度進行肝細胞癌に対する肝切除を中心とした集学的治療 ワークショップ
3. 井岡達也、奥坂拓志、波多野悦朗、小林省吾、肝内胆管癌診療ガイドライン作成委員会 肝内胆管癌診療ガイドライン化学療法（CQ12、CQ13、CQ14） シンポジウム
4. 新藤芳太郎、裕 彰一、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、中上裕有樹、兼清信介、友近 忍、恒富亮一、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、小笠原定久、坂元亨宇、加藤直也、永野浩昭 切除可能肝細胞癌に対する周術期補助療法としての新規ペプチドワクチン療法 ワークショップ
5. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 尾状葉領域の腹腔鏡下肝部分切除 一般演題（口演）
6. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 多発肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除の治療成績 一般演題（ポスター）
7. 永野浩昭 下大静脈/右心房内腫瘍栓をとこなう進行肝細胞癌に対する肝切除Surgery for advanced hepatocellular carcinomawith tumor thrombus in IVC/right atrium 日韓ジョイントシンポジウム

第45回日本外科系連合学会学術集会 12/22-12/24 WEB開催

1. 鈴木伸明、友近 忍、吉田 晋、藤井敏行、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手法と成績 ビデオシンポジウム
2. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における80歳以上高齢者の腹部緊急手術症例の検討 一般口演

第38回日本肝移植学会学術集会 12月 誌上開催、一部WEB開催

1. 永野浩昭 生体ドナーの合併症の現状 ワークショップ 座長
2. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、山本常則、若松弘也、松本聡、白源清貴、亀谷悠介、古谷 圭、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、吉野茂文、松本美志也、上野富雄、永野浩昭 肝移植術後において肺動脈カテーテルは不要か：心拍出量推定からの検討 一般演題

地方会司会・発表

Chugai Breast Cancer Symposium in Yamaguchi 1/22 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 司会

消化器がんと血栓症フォーラム 1/23 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 永野浩昭 特別講演1 特別講演 司会

第41回九州肝臓外科研究会学術集会 1/25 福岡 大塚製薬グループビル

1. 永野浩昭 他科・他分野と合同で行う肝切除術 一般演題 司会
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における肝細胞癌に対する開腹肝切除と腹腔鏡肝切除の治療成績の比較～ガイドライン適応の観点から～ 一般演題
3. 徳久晃弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝内門脈肝静脈シャントの外傷性破裂の1例 一般演題

がん免疫療法適正使用セミナー in 柳井 2/6 山口 周東総合病院

1. 吉野茂文 山口大学における irAE マネジメントチームの連携体制～院内院外連携を見据えて～ Session

臨床肝移植セミナー～多職種で進める山口的肝移植～ 2/7 山口 山口大学医学部医修館

1. 永野浩昭 司会
2. 松隈 聡 消化器領域における敗血症・DIC治療 教育講演

大鵬薬品工業株式会社社内研修会 2/7 山口 宇部興産ビル

1. 吉田 晋 大腸癌の治療戦略と副作用マネジメントについて 講演 司会
2. 飯田通久 胃癌の治療戦略と副作用マネジメントについて 講演 司会

第37回山口県食道疾患研究会 2/14 山口 山口グランドホテル

中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、山本常則、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 再発食道癌の治療成績 一般演題

第48回中国四国甲状腺外科研究会 2/15 山口 山口大学医学部医修館

1. 前田訓子 甲状腺手術における副甲状腺機能温存のための工夫 主題 司会
2. 古谷 圭、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 甲状舌管遺残から発生した甲状腺乳頭癌切除後、頸部リンパ節再発を認めた1例 一般演題
3. 佐藤陽子、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 甲状腺手術における副甲状腺機能低下についての検討 主題

地域がん公開講座がんについて考えよう。がんは身近な病 2/22 山口 萩市総合福祉センター多目的ホール

1. 永野浩昭 山口県における地域癌治療の現状と取り組み 基調講演 司会

第1回山口県消化器外科低侵襲治療研究会 2/28 山口 山口大学医学部医修館

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 教室における腹腔鏡下再肝切除の治療成績 一般演題

第14回腹腔鏡下大腸切除術セミナー-Basic Course 2/29 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 鈴木伸明 司会

Pharmacy Director Seminar in Yamaguchi 3/7 山口 山口グランドホテル

1. 鈴木伸明 大腸癌に対する集学的治療～究極の肛門温存を目指して～ 講演

株式会社ヤクルト本社社内研修会 5/21 WEB開催

1. 井岡達也 講演 講演

第150回関西 Cancer Therapist の会 6/3 WEB開催

1. 井岡達也 肺癌の薬物治療 講演

Yamaguchiリモート講演会 6/10 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 司会
2. 井岡達也 パネルディスカッション パネルディスカッション 司会
3. 武田 茂 消化器がん手術成績を向上させる因子と評価 パネルディスカッション
4. 飯田通久 消化器がん手術成績を向上させる因子と評価 パネルディスカッション

YAMAGUCHI CRC Online 講演会 6/23 WEB開催

1. 井岡達也 特別講演 特別講演 司会
2. 井岡達也 パネルディスカッション パネルディスカッション 司会
3. 鈴木伸明 パネルディスカッション パネルディスカッション
4. 吉田 晋 パネルディスカッション パネルディスカッション

山口 食道がんリモート講演会 6/30 WEB開催

1. 井岡達也 一般演題 一般演題 司会
2. 永野浩昭 特別講演 特別講演 司会
3. 飯田通久 他剤不応の切除不能胃がんに対するニボルマブの使用経験 一般演題

中華民国109年消化器連合学術講演年会 7/11 台湾 国防医学院センター

1. 井岡達也

Medical Advisory Board Meeting for Pancreatic Cancer(ZOOM) 7/13

1. 井岡達也 講師

Chugai Breast CancerWEB講演会 in山口 7/17 WEB開催

1. 井岡達也 Session1 Session 司会
2. 永野浩昭 Session2 Session 司会
3. 古谷 圭 HER2陽性乳癌へのパージェタの位置づけ Session

大鵬薬品工業株式会社社内研修会 7/27 WEB開催

1. 井岡達也 肝癌化学療法について 講演 講師

Medical Advisory Meeting 7/30 WEB開催

1. 井岡達也 胆膵癌治療今後の展開について 講演 講師

膵がんリモートLiveセミナー in中四国 7/31 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長
2. 井岡達也 膵がん化学療法のベストプラクティス パネルディスカッション 座長

膵がんリモートLiveセミナー in中四国 7/31 WEB開催

1. 新藤芳太郎 膵がん化学療法のベストプラクティス パネルディスカッション

第63回関西胸部外科学会学術集会 8/3-8/31 WEB開催

1. 武田 茂 一般演題 食道 一般演題 座長

TAIHO Gastric Cancer オンライン講演会 8/5 WEB開催

1. 井岡達也 切除不能進行・再発胃癌の最近の話題 座長

Breast Cancer Seminar inYamaguchi 8/21 WEB開催

1. 井岡達也 講演1 講演 座長
2. 永野浩昭 講演2 講演 座長
3. 前田訓子 当院における BRCA 検査の現状 講演

2020年度第1回がん治療スキルアップセミナー 8/25 WEB開催

1. 井岡達也 講演 講演 司会

大鵬薬品工業株式会社社内研修会 8/27 WEB開催

1. 鈴木伸明 大腸癌について 講演 講師

第48回Nagasaki Digestive Organ CancerChemotherapy (DOCC) フォーラム 8/29 長崎 長崎新聞文化ホール

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口で進める肝胆膵外科 特別講演

山口 大腸癌リモート講演会 9/8 WEB開催

1. 井岡達也 講演 講演 座長

第6回山口乳癌研究会 9/23 WEB開催

1. 永野浩昭 Session 2 司会
2. 前田訓子 進行再発トリプルネガティブ乳癌への薬物療法

Expert Web ConferenceFinal Announcement 10/6 WEB開催

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口で進める肝胆膵外科－5年間のお話し 講演 講師

DS山口乳癌リモート講演会 10/7 WEB開催

1. 井岡達也 H E R 2 陽性の手術不能又は再発乳癌の治療戦略－エンハーツの Potential を最大限に引き出すために－講演座長

山口・四国肝癌コアセミナー 10/16 WEB開催

1. 井岡達也 膵がん化学療法の最新情報について 特別講演
2. 井岡達也 膵がん二次化学療法について ディスカッション

第17回日本乳癌学会中国四国地方会 10/24-11/24 WEB開催

1. 前田訓子 スポンサーセミナー スポンサーセミナー 司会
2. 前田訓子 非浸潤性乳管がんの治療 教育セミナー 講師
3. 古谷 圭 非浸潤性乳管がん 教育セミナー
4. 古谷 圭、前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 当科における Pertuzumab の使用経験 優秀演題セッション

7. 佐藤陽子、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 多剤内分泌療法後、病勢制御可能であった乳癌局所再発に対するアベマシクリブ＋フルベストラント治療の一例 一般演題
8. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、西田裕紀、爲佐路子、得能和久、河岡 徹、爲佐卓夫、永野浩昭 乳房全切除後の創部加圧ブラー医療ニーズに合致した県内企業との製品開発 一般演題
9. 佐伯晋吾、長島由紀子、北原正博、近藤潤也、坂本和彦、矢原 昇、安部俊弘、吉野茂文、林 弘人、前田訓子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 非浸潤性乳管癌の乳房切除後に同側腋窩副乳癌を発生した異時性重複癌の1例 一般演題

第14回肝臓内視鏡外科研究会第12回膵臓内視鏡外科研究会 10/28-11/4 WEB開催

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 腹腔鏡下再肝切除の治療成績と手術難易度評価 要望演題
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 多発肝腫瘍に対する腹腔鏡下多部位肝部分切除術の適応と治療成績 要望演題
3. 松井洋人、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、碓 彰一、井岡達也、永野浩昭 診断的治療目的に腹腔鏡下膵体部切除術を施行した膵脂肪肉腫の一例 要望演題

第123回中国地方会 10/31 WEB開催

1. 井岡達也 腫瘍1 一般演題 座長

Hepatocellular Carcinoma Webinarin 山口 11/18 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長

Novartis Pharma K.K. Workshopwithin the company11月度 社内研修会 11/19 WEB開催

1. 井岡達也 神経内分泌治療の診断と治療 Lecture

第8回山口膵・胆道疾患研究会 11/24 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長
2. 井岡達也 山口膵・胆道疾患研究会 活動状況
3. 徳光幸生 山口膵・胆道疾患研究会 活動状況
4. 松井洋人 山口膵・胆道疾患研究会 活動状況

第51回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 11/28-11/29 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 井岡達也 膵癌の早期発見を目指して シンポジウム

小野薬品工業株式会社社内研修会 11/30 山口 小野薬品工業株式会社山口営業所

1. 井岡達也 山口大学における胃がんの治療方針や免疫チェックポイント阻害薬の立ち位置腫瘍センターにおける irAE マネジメントチームの取り組み 講師

Pancreatic Cancer Online Seminarin YAMAGUCHI 12/7 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長
2. 井岡達也 新規抗がん剤オニパイドについて ミニレクチャー

アストラゼネカ株式会社PDAC社員教育研修 12/9 WEB開催

1. 井岡達也

山口大学医学部附属病院 臨床研究センター2020年度 第2回治験推進セミナー 12/10 山口 山口大学

1. 井岡達也 企業治験に関する私の経験

第20回 Hyogo Liver Conference（ハイブリット形式） 12/12 兵庫 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ

1. 永野浩昭 肝細胞癌治療の現状とこれから 特別講演

第32回東北臨床腫瘍セミナー 12/12 WEB講演会

1. 井岡達也 膵癌化学療法 of up to date～今使える武器をいかに使いこなすか～ 特別講演

日本製薬株式会社社内講演会 12/23 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 新藤芳太郎 講演 講演 講師

研究費取得状況

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	代表	1,100,000	膵癌幹細胞および腫瘍微小環境をターゲットとする個別化診療への展開
科研費	基盤研究(C)	裕 彰一	代表	800,000	膵がん幹細胞特異抗原に対するマルチHLA結合性ペプチドの同定と新規免疫療法の開発
科研費	基盤研究(C)	吉野茂文	代表	1200,000	胃癌における抗PD-1抗体の効果予測—末梢血と局所の免疫担当細胞の機能解析
科研費	基盤研究(C)	山本 茂	代表	800,000	1細胞解析法による乳癌内分泌療法抵抗性の解明-血中循環腫瘍細胞からのアプローチ
科研費	基盤研究(C)	鈴木伸明	代表	1,100,000	免疫チェックポイント阻害剤併用がんペプチド療法におけるバイオマーカーの探索
科研費	基盤研究(C)	飯田通久	代表	1,400,000	大腸癌肝転移に関与する癌微小環境におけるmicroRNA221・222の機能解析
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	1,300,000	肝癌幹細胞特異的RAB3Bを標的とした術後肝内再発抑制のための新規治療法開発
科研費	基盤研究(C)	吉田 晋	代表	1,700,000	CyTOFによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割
科研費	若手研究	徳光幸生	代表	1,500,000	術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築
科研費	若手研究	兼清信介	代表	1,100,000	Calreticulin陽性膵癌幹細胞の癌幹細胞性および病態生理の解析
科研費	若手研究	新藤芳太郎	代表	1,400,000	肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明
科研費	若手研究	松井洋人	代表	1,700,000	膵癌におけるがん微小環境に関連した新規バイオマーカーと治療標的の探索
科研費	若手研究	松隈 聡	代表	1,200,000	独自に誘導した膵癌幹細胞の免疫逃避機構の解明
科研費	若手研究	西山 光郎	代表	900,000	胃癌腹膜播種を亢進する独自の誘導胃癌幹細胞からの播種再発抑制標的の同定

Clinical and research conference

2020.1.18 - winter

時間	全体進行係： 飯田通久 先生
7:30-7:40 教授挨拶	永野浩昭 教授
7:40-8:50 1. 各診療グループ報告	司会： 鈴木伸明 先生
乳腺内分泌グループ	前田訓子 先生
上部消化管グループ	武田 茂 先生
下部消化管グループ	鈴木伸明 先生
肝胆膵グループ	徳光幸生 先生
腫瘍センター	井岡達也 先生
8:50-16:49 1. 研究者発表会議	2019年 研究総括： 碓 彰一 先生
	午前司会： 武田 茂 先生
	午後司会： 鈴木伸明 先生
兼定 航	Prediction of adverse effects of the FOLFIRINOX therapy by measurement of genetic variations.
千々松日香里	Identification and enhancement of neoantigen derived immune reaction in patients with gastrointestinal cancers.
木村祐太	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line.
山本常則	Quest for novel immune suppressive factors extrapolating from tumor microenvironment beyond Immunoscore and peripheral immune status of colorectal cancer.
中島千代	LOX-1 as a biomarker of inflammatory poor prognostic biomarker of colorectal cancer.
山田健介	Search for biomarkers of colon cancer immunochemotherapy by comprehensive protein analysis of tumor tissue.
藤原康弘	Stemness of Calreticulin positive cells and the expression of molecules related to immune response against pancreatic cancer stem-like cells.
桑原太一	Relationship between tumor infiltrating lymphocytes, MSI and BRAF600E mutation as a prognostic factor in colorectal cancer.
鈴木伸明	Analysis about risk factors of anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer.
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
中島正夫	Improved survival of chimeric antigen receptor-engineered T (CAR-T) and tumor-specific T cells caused by anti-programmed cell death protein 1 single-chain variable fragment-producing CAR-T cells
佐藤陽子	Multicenter prospective study of breast dedicated positron emission mammography for breast cancer
中上裕有樹	①Mass cytometry analysis of TILs and PBMCs of YCP02 study. ②An exploratory analysis on clinical data of colorectal cancer for finding novel combinations of prognostic biomarkers.
西山光郎	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
松隈 聡	Laparoscopic resection reduces superficial surgical site infection in liver surgery
松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
新藤芳太郎	Simultaneous hepatic artery resection and reconstruction for perihilar cholangiocarcinoma
徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer
友近 忍	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR
前田訓子	Prevention of surgical site infections after breast surgery
吉田 晋	①Impact of sarcopenia for chemotherapy in colorectal cancer ②Efforts to increase surgeons in Yamaguchi prefecture
飯田通久	Risk factor for transaminase elevation after laparoscopic gastrectomy using a Nathanson liver retractor.
武田 茂	Efficacy of intraoperative recurrent laryngeal nerve monitoring during surgery for esophageal cancer
古谷 圭	Search for biomarkers of colon cancer chemo-immunotherapy and future plan
徳久晃弘	Analysis about AnnexinA2 which are highly expressed in pancreatic cancer stem like cells(P-CSLCs)
濱崎太郎	Future plan
16:49-17:00 4. 総括	永野浩昭 教授

研究者発表会議

2020.7.18 - summer

時間	全体進行係：鈴木伸明 先生
8:30~16:08	1. 研究者発表会議 司会：武田 茂先生(前半)、鈴木伸明先生(後半)
中上裕有樹	① Mass cytometry analysis of TILs and PBMCs of YCP02 study. ② An exploratory analysis on clinical data of colorectal cancer for finding novel combinations of prognostic biomarkers.
徳久晃弘	Analysis about AnnexinA2 which are highly expressed in pancreatic cancer stem like cells(P-CSLCs).
渡邊裕策	Research theme and future plan.
古谷 圭	Search for biomarkers of colon cancer chemo-immunotherapy and future plan.
兼定 航	Prediction of adverse effects of the FOLFIRINOX therapy by measurement of genetic polymorphisms.
千々松日香里	① Identification and enhancement of neoantigen derived immune reaction in patients with gastrointestinal cancers. ② Search for biomarkers of colorectal cancer chemotherapy by comprehensive protein analysis of serum samples.
鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability.
木村祐太	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line.
山本常則	①Quest for novel immune suppressive factors extrapolating from tumor microenvironment beyond Immunoscore and peripheral immune status of colorectal cancer. ②Identification and enhancement of neoantigen derived immune reaction in patients with gastrointestinal cancers.
山田健介	(公聴会予行) Siglec-7 is a predictive biomarker for the efficacy of cancer vaccination against metastatic colorectal cancer.
中島千代	(公聴会予行) LOX-1 as a biomarker of inflammatory poor prognostic biomarker of colorectal cancer.
藤原康弘	Stemness of Calreticulin positive cells and the expression of molecules related to immune response against pancreatic cancer stem-like cells.
藤本拓也	(公聴会予行) Cathepsin B is highly expressed in pancreatic cancer stem-like cells (P-CSLCs) and is related to patients' surgical outcomes.
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer.
佐藤陽子	Multicenter prospective study of breast dedicated positron emission mammography for breast cancer
徐 明	Research progress report.
中島正夫	Expanding indication of Laparoscopic parenchymal sparing hepatectomy (Lap-PSH) for multiple liver tumor
西山光朗	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy.
松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.
新藤芳太郎	Hepatic artery resection and reconstruction using right gastroepiploic artery in pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer.
徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer.
友近 忍	TCR sequencing of advanced colorectal cancer patients receiving anti-EGFR.
前田訓子	Prevention of surgical site infections after breast surgery.
吉田 晋	① Impact of sarcopenia for chemotherapy in colorectal cancer. ② Efforts to increase surgeons in Yamaguchi prefecture.
飯田通久	Risk factor for transaminase elevation after laparoscopic gastrectomy using a Nathanson liver retractor.
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application.
鈴木伸明	Analysis about risk factors of anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer.
武田 茂	Efficacy of intraoperative recurrent laryngeal nerve monitoring during surgery for esophageal cancer.
16:08-16:23	2. 総括 永野浩昭教授

学位取得者報告

中島正夫 平成21年卒



令和2年に学位を取得させて頂きました中島正夫です。永野浩昭教授、玉田耕治教授をはじめ、多くの先生方、実験助手さんのおかげで学位を取得することができましたことを、心より感謝申し上げます。特に、実験の指導から論文作成まで様々なご指導を賜りました佐古田幸美准教授には、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

私は2年間の間、山口大学免疫学講座に出向し、玉田耕治教授にご指導いただき研究を行ってまいりました。研究テーマは「固形癌に対して治療効果を有する新しいキメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）療法を開発すること」でありました。CAR-T細胞療法は血液造血器腫瘍に対して極めて高い抗腫瘍効果を有する癌免疫療法の一つで、2019年に保険収載されています。しかしながら、固形癌に対しては治療効果が限定的であるのが現状です。今回の私の研究が、固形癌に対するCAR-T細胞療法の未来を切り拓く一助になれば幸いです。

右も左も分らない一外科医に、一から技術的そして知識的な面だけでなく、研究者としてのあり方を教えていただき身に余る光栄でした。2年間ベットフリーという期間は、皆様にご迷惑をおかけしてしまいましたが、きちんとした研究の基礎を体の芯まで叩き込むために、そして人生というものをさまざまな視点から広く考えるためにも非常に有意義な期間であったと思っています。繰り返しになりますが、この度はこの貴重な経験をさせてくださいました、永野浩昭教授、玉田耕治教授、佐古田幸美准教授、安達圭史先生そして医局の先生方には重ね重ね御礼申し上げます。

今後は、大学院で得た知識や経験を生かして、クリニカルクエスションに向き合い、頭に汗をかき、地方大学ならではの視点で解決してゆければと思います。また後輩の先生方の研究や臨床においても、微力ながら協力していきたいと思っています。今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

桑原太一 平成22年卒



私の研究は、治癒切除大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と予後に関するものです。この分野では、当教室で行われてきたJeromeらとの国際コンソーシアムImmunoscoreが、非常に有名です。本研究では、これに続くさらなるバイオマーカーとして、CD3、CD8に加えて、CD4 およびFOXP3 陽性T細胞の腫瘍内浸潤が大腸癌患者の予後に与える意義を検討しました。近年、免疫チェックポイント阻害薬の出現で、免疫療法がより身近なものになっています。本研究も大腸癌免疫の理解と新規治療開発の一助となればと考えています。

本テーマを与えていただき実験から論文執筆にわたりご指導いただいた裕先生、永野先生に深謝申し上げます。そして、右も左もわからない私をとて親切に手伝っていただいた藤原さん、中上さん、竹之内さんをはじめ研究助手のみなさん、本当に感謝しています。また、ベッドフリー期間中に臨床を支えてくださった医局員の先生方、本当にありがとうございました。

中島千代 平成22年卒



このたび、令和2年に学位を取得いたしました平成22年卒の中島千代です。大学院では「大腸癌の予後不良バイオマーカーの探索」をテーマとして研究を行いました。予後バイオマーカーは今後の治療ターゲットになる可能性があり、研究を行ったLOX-1

(Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1)は、ちょうど自分の出産時期とも重なっており、我が子と同じように大切な発展性のある蛋白と考えております。ピペット操作すらできない、統計のやり方もわからない状態からスタートし、学術研究員、技術補佐員の方々にサポートしていただきながら実験を進め、得られた結果から考察し、生じた問題のためにまた実験し・・・1つずつ解決して論文化できた次第です。大学院で得られた考え方を今後の日常診療に活かしたいと思っています。ご指導いただきました永野浩昭教授をはじめ、サポートいただいた皆様に心より感謝しております。特に、テーマを与えて下さり、実験から論文作成まで根気強くご指導を賜りました裕先生にはこの場をお借りして深謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新入局者あいさつ

小佐々 貴博 平成27年卒



令和2年度入局の小佐々貴博と申します。平成27年に山口大学医学部を卒業し、福岡県麻生飯塚病院で2年間の初期研修、3年間の外科後期研修を行いました。故郷の山口県の外科医療に貢献するという強い決意のもと、令和2年度より山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局させていただきました。令和2年度は愛媛県市立八幡浜総合病院に勤務させていただきました。手術のみならず内科的な治療、検査、手技に関しても経験させていただきました。令和3年度より山口大学医学部附属病院集中治療室に勤務させていただいております。集中治療を学ぶ機会は少なかったので、これを機に勉強させていただこうと思います。趣味は水泳とドライラボで折り鶴を折ること、座右の銘は「置かれたところで咲きなさい」、目標は山口県での腹腔鏡手術の発展に貢献することです。まだまだ未熟な点もありご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

堤 甲輔 平成29年卒



令和2年度入局、堤 甲輔と申します。生まれも育ちも生粋の博多っ子ではございますが、山口での充実した大学生活を送るうちに、外科学（特に腫瘍学）に興味を抱き、また多くの縁にも恵まれたことも相まって、山口県における外科診療に携わる意欲が湧いてまいりました。平成29年に山口大学を卒業し、2年間の初期臨床研修を経て、初年度は八幡浜総合病院で外科医としてのスタートをきりました。本年度より初期臨床研修でも大変お世話になりました、関門医療センターに着任しております。

鬼手仏心を信条として、日々の鍛錬で外科医としての確かな技術を会得し、患者さんには寄り添う医療を提供できるよう、一医療人である前に一社会人としての成長をはかり、日々の外科診療に携わる所存でございます。

諸先輩方には、これから各地で大変お世話になることと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

尤 曉琳 平成30年卒

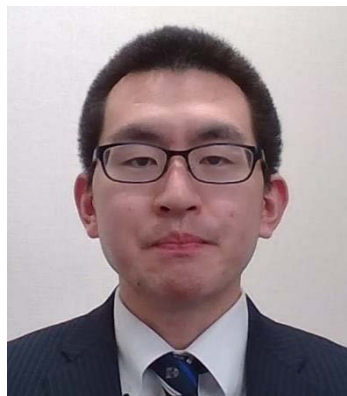


令和2年度入局の尤曉琳と申します。父が台湾人、母がマレーシア人のハーフですが0歳から福岡で育ってきました。佐賀県弘学館での寮生活を経て山口大学に入学し、平成30年に卒業しました。卒後は徳山中央病院で2年間の初期臨床研修を行いました。元々産婦人科や救急科に興味がありましたが、やはり手術がしたい・Oncologyに携わりたいと考え外科医になることを決意しました。令和2年4月から山口大学医学部附属病院、令和3年4月からは下関医療センターで修練させて頂いています。福岡県出身ですが、医師としての自分を育てくれた山口県に恩返しをしたく、外科医として今後も山口県の医療に携わりたいと考えております。

まだまだ未熟者ではありますが、一人前の外科医となれるよう日々精進していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新入局者あいさつ

酒井豊吾 平成30年卒



昨年度山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局させていただきました酒井豊吾です。出身は大分県中津市で、山口大学医学部を平成30年に卒業しました。卒後は関門医療センターで2年間の初期臨床研修を行い、入局後1年間山口大学付属病院で勤務させていただいた後、今年度より徳山中央病院で勤務させていただいております。

昨年度より多くの先生方に基本的な技術や知識、そして高難度の手技などをご指導いただきました。私も着実に力を付け、早く諸先輩方に追いつきたい気持ちです。はやる気持ちを抑えつつ、目の前にある課題の一つひとつ達成し、少しでも早く患者さんへ貢献できるように精進して参りたいと思います。

疲れた時は周防灘を挟んで遠くに望む大分の山々を眺め、再度気を引き締め、日々の診療に邁進しようと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

佐伯晋吾 平成30年卒



令和2年に山口大学消化器腫瘍外科に入局させていただきました佐伯晋吾と申します。平成30年に山口大学を卒業後、徳山中央病院にて初期研修を行い、令和2年に入局いたしました。入局1年目は関門医療センターでご指導いただきながら手術執刀も数多く経験させていただき、本年度から都志見病院で働かせていただいております。在学時の実習で初めて外科に触れ、かっこよさに憧れました。初期研修中にも先生方に大変お世話になり、日に日に外科医になるという決意が固くなりました。私は山口で生まれ山口で育った生粋の山口っ子です。地元で働くことができる喜びを感じております。小学生から大学まで続けたサッカーで鍛えた体力で、素晴らしい先輩方に必死に喰らいついて知識や技術を吸収し1人前の外科医となれるよう精進を重ねて参ります。未熟な点は多く、ご迷惑を多々おかけする事はあると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

鈴木 有十夢 平成30年卒



令和2年度に山口大学消化器腫瘍外科に入局させていただいた鈴木有十夢(あとむ)と申します。卒後、関門医療センターで2年間の初期臨床研修、3年目は萩の都志見病院、4年目の令和3年4月からは徳山中央病院にて研鑽を積ませていただいております。外科医に大切なのはまず何よりも体力!!と考えておりますが、幼少期より空手と柔道にて肉体・精神を鍛錬しており、体力と我慢強さには自信があります。大学時代の空手道部で培った努力・忍耐・根性の空手道部魂を常に忘れず、これからの医道にも生かして行きたいと思っております。まだまだ未熟で外科医として右も左も分かりませんが、山口県の医療に貢献できるように、身を粉にして日々精進していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

2020年 在籍教室員

(2020年12月31日時点)

教授・診療科長

氏名：永野浩昭（岡山大学医学部 昭和61年卒）
専門：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科

共同研究講座教授（先端がん治療開発学）

氏名：裕 彰一（山口大学医学部 昭和61年卒）
専門：先端医療開発、免疫療法

准教授（腫瘍センター）

氏名：井岡達也（日本大学医学部 平成2年卒）
専門：化学療法、集学的治療

診療准教授・副科長

氏名：武田 茂（山口大学医学部 平成3年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

講師・病棟医長

氏名：鈴木伸明（愛媛大学医学部 平成7年卒）
専門：下部消化管外科

講師

氏名：恒富亮一（山口大学農学部 平成16年卒）
専門：癌の分子生物学

助教・医局長

氏名：飯田通久（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

助教・外来医長

氏名：吉田 晋（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：前田訓子（島根大学医学部 平成12年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

助教（手術部）

氏名：友近 忍（山口大学医学部 平成13年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：渡邊裕策（山口大学医学部 平成15年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

共同研究講座助教（先端がん治療開発学）

氏名：徳光幸生（宮崎医科大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：新藤芳太郎（山口大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：松井洋人（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：松隈 聡（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

助教（集中治療部）

氏名：太田啓介（山口大学医学部 平成25年卒）

学術研究員

氏名：徐 明（中国 大連医科大学 平成15年卒）

学術研究員

氏名：中上裕有樹
（米国 ウェスタンミシガン大学 平成25年卒）

診療助教

氏名：西山光郎（長崎大学医学部 平成19年卒）
専門：上部消化管外科

診療助教

氏名：中島正夫（山口大学医学部 平成21年卒）
専門：肝胆脾外科

診療助教

氏名：中島千代（山口大学医学部 平成22年卒）

診療助教

氏名：佐藤陽子（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

診療助教

氏名：尤 曉琳（山口大学医学部 平成30年卒）

診療助教

氏名：酒井 豊吾（山口大学医学部 平成30年卒）

大学院生

氏名：近藤潤也（長崎大学医学部 平成13年卒）

大学院生

氏名：山田健介（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：木村祐太（鹿児島大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：山本常則（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：兼定 航（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：千々松日香里（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：徳久 晃弘（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：古谷 圭（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：鄭 桓宇（中国遼寧何氏医学院 平成26年卒）

学会専門医、指導医、評議員リスト

(2020年12月31日時点)

日本外科学会

専門医：

永野浩昭、碓 彰一、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、前田訓子、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生
新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、西山光郎、中島正夫、藤原康弘、山田健介、中島千代、木村祐太、山本常則、
徳久晃弘
千々松日香里

指導医：

永野浩昭、碓 彰一、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、渡邊裕策

代議員：

永野浩昭

日本消化器外科学会

専門医：

永野浩昭、碓 彰一、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎
松隈 聡、西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、木村裕太、山本常則、山田健介、徳久晃弘

指導医：

永野浩昭、碓 彰一、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡

評議員：

永野浩昭、碓 彰一

日本乳癌学会

認定医・専門医：

前田訓子、佐藤陽子

日本食道学会

認定医：

武田 茂、西山光郎

専門医：

武田 茂

評議員：

永野浩昭、武田 茂

日本肝胆膵外科学会

評議員：

永野浩昭、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡

高度技能指導医：

永野浩昭

日本内視鏡外科学会

技術認定医：

武田 茂、徳光幸生

評議員：

永野浩昭、裕 彰一

日本癌治療学会

臨床試験登録医：

永野浩昭、裕 彰一

代議員：

永野浩昭

日本癌学会

評議員：

永野浩昭、裕 彰一、恒富亮一

日本大腸肛門病外科学会

専門医・指導医・評議員：

裕 彰一

日本胃癌学会

評議員：

永野浩昭、武田 茂、飯田通久

日本肝臓学会

専門医：

永野浩昭、徳光幸生、松隈 聡

指導医・評議員：

永野浩昭

日本胆道学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本脾臓学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本消化器病学会

専門医・指導医：

永野浩昭、井岡達也

評議員：

井岡達也

日本腹部救急医学会

評議員：

永野浩昭

日本外科感染症学会

Infection Control Doctor：

武田 茂、松隈 聡

外科周術期感染管理認定医：

松隈 聡

評議員：

武田 茂、松隈 聡

日本臨床腫瘍学会

がん薬物療法専門医・指導医・協議員：

井岡達也

日本がん治療認定医機構

認定医：

永野浩昭、井岡達也、武田 茂、前田訓子

渡邊裕策、徳光幸生、松隈 聡、西山光郎

中島千代

日本消化器内視鏡学会

専門医・指導医：

井岡達也

2020年 年間行事



コスモス（下関市）

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	新年互礼会 Clinical & Research Conference		Breast Cancer Symposium in Yamaguchi 消化器癌と血栓症フォーラム 第1回CCST (Clinical Cadaver Surgical Training)
2	外科専門医育成会議		第1回山口低侵襲手術研究会 第48回中国四国甲状腺外科研究会 臨床肝移植セミナー
3	第3回宇部・山陽小野 田開業医先生方との 意見交換会		
4			
5			第42回癌局所療法研究会 第3回山口消化器内視鏡外科研究会
6			第37回胆膵病態・生理研究会 第113回消化器秒学会中国支部会
7	研究者発表会議	第92回胃癌学会総会	第41回癌免疫外科研究会
8		第120回日本外科学会総会 第56回日本肝臓学会総会 第47回日本膵切研究会	
9			
10	医局説明会	第56回胆道学会総会 第79回癌学会総会 第24回癌免疫学会総会 第95回中国四国外科学会総会 第56回腹部救急医学会総会 第28回乳癌学会総会 第58回癌治療学会総会 第82回臨床外科学会総会	第25回中国四国内視鏡外科研究会 第74回手術手技研究会
11		第56回移植学会総会 第28回消化器関連学会週間 第75回大腸黄門秒学会総会 第33回バイオセラピー学会総会 第33回外科感染症学会総会	第50回胃外科・術後障害研究会 Hepatocellular Carcinoma Webinar in 山口 第8回山口膵・胆道疾患研究会
12		第114回消化器病学会中国支部会 第74回食道学会総会 第75回消化器外科学会総会 第45回外科系連合学会総会 第38回移植学会総会	第56回肝癌研究会 Pancreatic Cancer Online Seminar in YAMAGUCHI

1月 新年互例会



永野浩昭教授から新年のご訓示後に、各班のチーフの先生よりご挨拶いただきました。



武田 先生
(上部消化管)



鈴木 先生
(下部消化管)



前田 先生
(乳腺・内分泌)



裕 先生
(研究担当)



吉野 先生
(抗癌剤治療担当)

1月 Clinical & Research conference

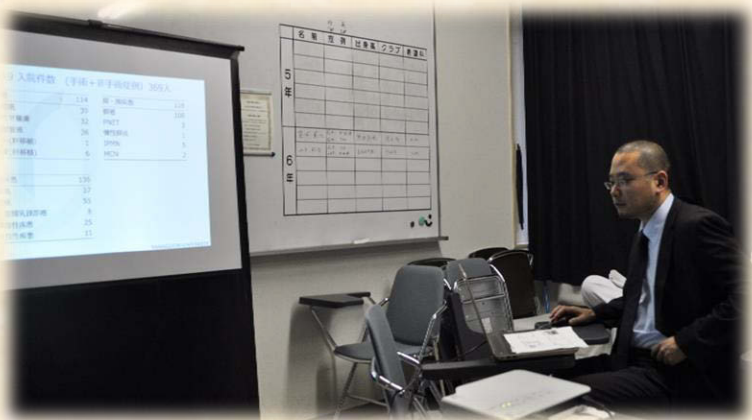


新年、新たな気持ちで今年の目標・抱負を表明！

各々から研究発表を行いました。



木村先生より基礎研究報告



徳光先生より肝胆膵班の臨床報告

1月 第1回CCST (Clinical Cadaver Surgical Training)



永野教授



篠田教授・医学部長
(神経解剖学講座)



吉田先生



新藤先生の熱血指導



ちゃっかりカメラ目線(('▽ '))



医師・学生ともに勉強になりました。お疲れ様でした。

2月 肝移植研究会



永野教授のご挨拶



東京大学 赤松 延久先生のご講演



松隈先生の発表



看護部の視点からより 中村さんの発表



多職種の方々にご参加頂きました

2月 山口県消化器外科低侵襲治療研究会



長崎大学 江口 晋先生にご講演して頂きました



ありがとうございました

2月 第48回中国四国甲状腺外科研究会（主催）



当番世話人の永野教授のご挨拶



会場風景



たくさんの先生方に発表して頂きました。



座長を行う前田先生



皆様のご協力のおかげで盛大に無事に開催できました

2月 外科専門医育成会議 in 周南



岡山大学の菊池寛次先生の特別講演

関連病院の指導医の先生方にお集まりいただき、外科専門医育成会議が行われました。
今年度から外科志望の学生も交えて、若いエネルギーさらにPower UP!



懇親会でも外科学について熱く語り合いました。

若手外科医！バンザイ！

3月 送別会



吉野先生、長い間、本当にお世話になりました！



関門医療センターでのご活躍とご健勝を祈念いたします。

3月第3回宇部・山陽小野田開業医先生方との意見交換会



地域医療を支えて下さっている開業医の先生方との意見交換会を行いました。
今後さらなるご協力、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

吉永 栄一先生、西村 公一先生、西川 雅裕先生、白澤 宏幸先生
川端 章弘先生、寺井 佳子先生、江本 智子先生

4月 新体制発足



大阪国際がんセンターより
井岡達也先生が赴任されました



新入局員の尤 暁琳 先生



新入局員の酒井豊吾先生

10月 医局説明会



永野教授より当科の紹介



西山先生よりメッセージ



2外科ならではの楽しい雰囲気で宴会



2外科入局しまーす?!?



女性外科医志望も増えています。

11月 山口脍・胆道疾患研究会



講演中の上野先生とその隣で講演を聞き入る永野教授
Web講演会ならではの光景です。



最新の知見をご教授頂き大変勉強になりました！

ゲスト写真集



赤松 延久 先生（東京大学）



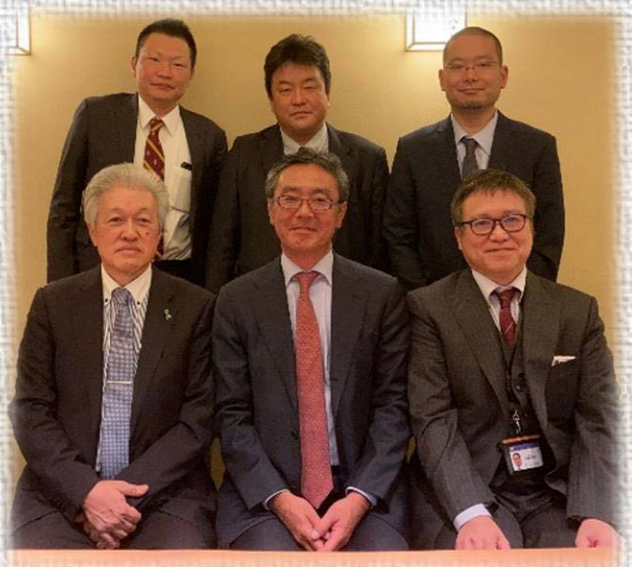
江口 晋 先生（長崎大学）



菊池 寛次 先生（岡山大学）



上野 誠 先生 （神奈川県立がんセンター）



里井 壮平 先生 （関西医科大学）



山崎 誠 先生 （大阪大学）

今年は、新型コロナウイルス感染拡大のため、例年開催していた下記の各イベントは残念ながら中止となりました。

4月：歓迎会＆花見

5月：青山会（勉強会、懇親会、ゴルフ会）

7月：医局旅行

12月：消化器外科学会 現地同門会

病棟忘年会

各学会、研究会はリモート開催もしくは中止となりました。



手指の消毒をしましょう



マスクの着用をしましょう

新型コロナウイルス感染拡大が1日でも早く収束に向かい再びイベント開催を行えることを願っています。

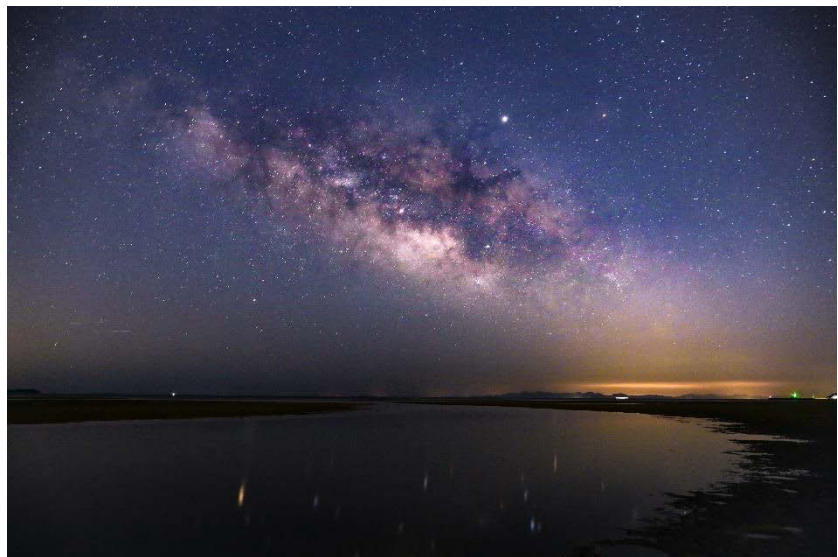
編集後記

2020年の1年間で、「新型コロナウイルス」の文字をメディアで目にしなかった日はないだろう。我々外科医の生活も大きく変わったように思う。学会などで遠方に行くことはめっきりなくなり、Webでの学会・研究会参加や会議など今まで縁のなかったものが一気に当たり前になった。今まで飛行機のフライト時間故に参加を断念した学会のセッションなどが、ボタン一つで自分のパソコンに居座りながら聞けるのは、とても有難いことである。外勤先でも参加できるなど、場所を選ばないのも画期的である。ただし、現地の「空気感」ともいべき人や場所などがもつ雰囲気や、どうしても肌で感じにくくなる気がするのには、私だけだろうか。いずれにしても、新たな変異型の発生などまだこのウイルスの勢いは止まりそうになく、この状態が今しばらく続きそうである。

外科医の生活も大きく変わったが、外科教育も変貌の兆しがある。コロナ禍もあいまって、遠隔教育も視野に入れたデジタルコンテンツによる外科教育が山口大学でも進みつつある。デジタルコンテンツを用いて「ビジュアルに訴える」ことが出来るのは、「外科」という手術を生業としている職業の特性上、内科系にないアドバンテージなのではないかと密かに思う。山口県では慢性的に若手医師が減少しているが、新たな外科教育の発信源になれば違う展開があるかもしれない。新型コロナウイルスで、皆「ピンチ」であることに変わりはないが、この状況を打破できる「チャンス」が、もしかしたら外科教育のなかに埋もれているのかもしれない、そんな気がする。

令和3年5月

徳光 幸生



天野川（山陽小野田市）

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教室年報：2020

令和3年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

編集責任者 徳光幸生

編集委員 中島正夫 藤原康弘 徳久晃弘 金城尚樹

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>